

平成31年度（令和元年度）

全国学力・学習状況調査の課題を踏まえた学習指導等  
の改善・充実のポイント

～確かな学力を育む授業づくり・指導体制の充実～



兵庫県マスコット はばタン

## はじめに

全国学力・学習状況調査は、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てること、そして、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立することを目的に平成19年度から実施されています。

本県では、学力向上実践推進委員会を中心に、全国学力・学習状況調査結果の分析を行い、指導方法の工夫・改善策について毎年検討してきました。

本指導資料は、平成31年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査の結果及び新学習指導要領を踏まえた学習指導等の改善・充実のポイントについて掲載しています。

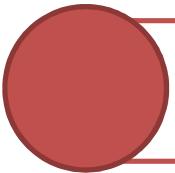
課題の分析では、今年度調査で特に課題の見られた設問について、その原因を分析するとともに、その基盤としてどのような知識及び技能が必要かといったことを示しています。また、具体的なつまづきの姿など、普段の授業を振り返るポイントを示すとともに、具体的な改善事例として、段階ごとに、①「知識・技能を身に付ける」場面、②「学んだことを深める」場面、③「生活や他の学習につなげる」場面を示しています。本指導資料で取り上げた問題等を参考に、各学校での課題を分析し、学校全体で共通理解を図りながら、実態に応じた課題解消に向けた授業改善を進めることができ、児童生徒の確かな学力の育成につながります。

Ⅲ・Ⅳ章では、確かな学力の育成をテーマに、これから求められる資質・能力や主体的・対話的で深い学び、カリキュラム・マネジメント等について、質問紙調査結果と関連付けながら授業づくりや指導体制のポイントを掲載しています。

各学校におかれましては、本指導資料の中から、自校の授業改善に向けたヒントを見いだしていただき、学力向上に向けた一層の充実に活用いただくことを期待します。

令和元年12月

兵庫県教育委員会



## 目 次

I 調査の概要	• • • • 1
II 各教科の調査結果に見られる課題と指導のポイント	• • • • 2
1 国語	
(1) 小学校国語	
(2) 中学校国語	
2 算数・数学	
(1) 小学校算数	
(2) 中学校数学	
3 英語	
III 確かな学力を育む授業づくり	• • • • 45
1 これからの時代に必要な資質・能力	
2 習得・活用・探究の過程を重視した学習の充実	
3 学びに向かう力の育成	
4 主体的・対話的で深い学びの視点での授業の充実	
IV 確かな学力を育む指導体制	• • • • 55
1 教科横断的な学習の充実	
2 全国学力・学習状況調査結果等の結果を活用した授業改善	
3 家庭や地域と連携した教育の推進	
V 参考資料	• • • • 63

裏表紙 学びを支え高め合う「新はばタン・モデル」

## ①目的

- ・義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
  - ・学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
  - ・そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- ※なお、この調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面である。

## ②調査内容

## ア. 教科に関する調査（国語、算数・数学、中学校英語）

①主として「知識」に関する問題	②主として「活用」に関する問題
<ul style="list-style-type: none"> <li>・身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容</li> <li>・実生活において不可欠であり、常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能 など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力</li> <li>・様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力 など</li> </ul>

※今年度から、上記①と②を一体的に問う。

## イ. 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査

## ③実施日

平成31年4月18日（木）

## ④実施状況（公立小学校・中学校・義務教育学校・中等教育学校・特別支援学校）

小学校6年生 753校 中学校3年生 347校

## ⑤教科に関する調査結果（平均正答率の状況）

学年	教科等	本県（公立）	全国（公立）
小学校 6年生	国語	62	64
	算数	67	67
中学校 3年生	国語	73	73
	数学	62	60
	英語	58	56

## II

# 各教科の調査結果に見られる課題と指導のポイント

本章では、平成31年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査において、各教科から特に課題の見られた設問を取り上げ、誤答から見られる課題や指導のポイント、また指導のポイントを具体化した授業例を示しています。

設問ごとに①「分析から見られる課題・指導のポイント」→②「授業例」といった順で掲載しています。

- |        |            |        |            |
|--------|------------|--------|------------|
| ○小学校国語 | p. 5~p.12  | ○中学校国語 | p. 13~p.20 |
| ○小学校算数 | p. 21~p.28 | ○中学校数学 | p. 29~p.36 |
| ○中学校英語 | p. 37~p.44 |        |            |

（「指導のポイント」「授業例」中の子どものイラストは、トライヤー・ウィークの中学生が作成しています。）

## ① 分析から見られる課題・指導のポイント

特に正答率の低かった設問や全国に比べて差の大きかった設問について、解答類型をもとに課題の分析（p.59～p.60参照）を行うとともに、それにつながる基礎的な内容についても今年度や過去の調査問題をもとに分析を行い、その改善に向けた指導のポイントを示しています。

また、先生方の授業を振り返る際の参考にできるよう、それらの課題につながる児童生徒のつまずきの姿や、一見十分な指導ができているように見えるものの、必要な力の育成につながっていない指導について具体例を示しています。

（1）小学校国語  
① 目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書くこと【13】  
【正答率】兵庫県26.3%、全国28.8%

調査問題

課題の見られた問題を解くために必要な基礎的・基本的な知識及び技能

今回の調査【1】では、  
約3割の児童が、それぞれの資料を用いる目的が理解できていませんでした。

【問題の概要】  
それらの図や表を用いた目的を選び。  
○現在と過去の様子を並べて書くこと。  
○内容ごとに分類して示す。  
○年次ごとの数値をグラフで示す。  
○私見や感想などを使って書く。  
○説明したい場所やものを作成する。  
（正答：資料2：○、資料3：○）

指導のポイント  
・基礎的・基本的な知識及び技能の習得に向けたポイント  
・活用に関する指導のポイント

資料の使用目的  
・何を書くか  
・何を書くか  
・何を書くか  
・何を書くか

資料の使用目的  
・何を書くか  
・何を書くか  
・何を書くか  
・何を書くか

このような誤答が多く見られます  
※割合は兵庫県の結果

- 「(1) 公衆電話はどのようなときに必要なのか」と「(2) 公衆電話にはどのような使い方や持ち方があるのか」のうち、どちらか一方の分かったことしか書いていない。(1)のみ16.9%、(2)のみ6.8%→(1)と(2)の両方の理由になることを書いている。(9.5%)
- 「調査の内容と結果」のうち、分かったこと(結果)以外の内容について取り上げている。(9.5%)

誤答のうち、割合の高い解答  
類型をもとにした、誤答の原因や具体例

この授業を振り返ってみましょう。  
なぜか?  
たくさん資料  
はい?  
カラフルな資料をいっぱい書いて  
いる。きれいな字で書いているから上  
手にまとめられている。

内容と質問の整合性を意識してレポートを読むことができない。

こんな指導がなっていませんか?  
目的に合った資料を基めて文書を  
書きましょう。  
目的に合った資料を基めるための  
手立てを講じていない。

このレポートがうまくまとまらない  
か、グループで見てもらいましょう。

文書等を見る視点を明確にな  
らば、見し合いを行っている。

具体的な  
力の育成につながっていない指導例

## ② 授業例

授業実践例は、単元の流れの中から、

- ・「知識・技能を身に付ける」
- ・「学んだことを深める」
- ・「生活や他の学習につなげる」

というように、一部の場面を取り上げています。

どれも、単元において、必要な場面ですが、各学校での分析結果に基づき、それぞれの課題に応じて、対応する場面を重点的に指導してください。

### 分析に関するページとの関連

各場面は、下に示すように、それぞれの実践例の前にある分析に関するページの内容に関係しています。

児童生徒のつまづきの具体例や、力の育成につながっていない指導例の解消に向けたヒントも込められていますので、分析に関するページで自身の授業を振り返っていただき、実践例の中から、その解決になるポイントを参考にしていただければと思います。



**Point**  
資料から分かることに目を向けさせることで、資料の意味や特徴に気付かせます。

活動ごとに留意点を掲載しています。

#### 【小学校国語①】

目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書く力を育む授業実践

単元名：資料を生かして呼びかけよう（第1学年 東京書籍）

ねらい（目とすること）

目的や意図に応じて、効率的な文章の構成を考えたり、図表やグラフを用いたりして、自分の考えを書くことができる。

#### 【学習の流れ】

第一次 資料を読み取り、効率的な活用について考える（下記参照）

第二次 効率的に資料を活用して、意見文をまとめて右ページ上部参照

### 「知識・技能を身に付ける」場面

#### ○写真や図、グラフから読み取ることを考える



それらの資料から、どのようなことが分かりますか。



温帯効果ガスのせいだ熱がたまって暑くなるんだね。



あ、ちきりママは、水がなくなると困るね。



課題の見られた設問に関する必要な基礎的・基本的な部分に対応しています。



#### ○写真や図、グラフのどのような効果があるのかを考える



それらの写真、図、グラフは、それぞれどんな効果がありますか。



写真や図、文章の内容がイメージしやすくなる。



写真を用いたり、図表や状況を分かりやすく伝えるね。



#### 主体的・対話的で深い学びにつながる指導のポイント

本単元の学習を生かして、委員会活動等で実際に資料を用いて文章を書くことで、学習内容を深めたり、生活とのつながりを実感したりできるようにします。

### 「学んだことを深める」場面

正答率の低かった設問に関する課題に対応しています。

### 「生活や他の学習につなげる」場面

各単元で身に付けた力を、他教科や生活で生かす内容になっています。

場面ごとに主体的・対話的で深い学びにつながる指導のポイントを掲載しています。

### 「生活や他の学習につなげる」場面

正答率の低かった設問に関する課題に対応しています。

### 「生活や他の学習につなげる」場面

各単元で身に付けた力を、他教科や生活で生かす内容になっています。

場面ごとに主体的・対話的で深い学びにつながる指導のポイントを掲載しています。

それぞれの場面の中に、習得したことを活用して考える活動が込められています。一見すると、「習得」→「活用」→「探究」の流れにも見えますが、これらは一方向のものではありません。実践例においても、それぞれの場面において、それぞれの場面を行ったり来たりしながら学びを深めることを目指しています。



### 「知識・技能を身に付ける」場面

分析に関するページの右上「その基礎となる『〇〇の力』も必要です」から明らかになった課題解決のための活動例です。

ここでは、単に教師が説明したり、繰り返し練習させたりするだけでなく、子ども達が、これまで学習したことと、教科書の内容、友だちとの学び合いによる気付きといった新たな情報と関連させながら、納得してその意味を理解するといった内容になっています。

### 「学んだことを深める」場面

分析に関するページ左側の、「このような誤答が多く見られます」から明らかになった課題を解決するための活動例です。

ここでは、身に付けたことを活用して課題を解決したり、表現したりする活動を通じて、「知識・技能を身に付ける」場面で習得したことをさらに深める内容となっています。

### 「生活や他の学習につなげる」場面

「探究」の場面を想定しています。

ここでは、その単元で学習したことを基に、子ども達が自ら問い合わせたり、解決のための方法を考えるなど、学びを生活や他の学習と関連付けることで、さらに学びを深めたり、学ぶことの意義を考えたりできる内容となっています。

納得してその意味を理解することや活用することも大事だと思うけど…

繰り返しの練習も大切なんじゃないの？



本指導事例集では、全国学力・学習状況調査において、特に課題の見られた問題を取り上げているため、実践事例において、語彙に関する内容や計算の技能といった繰り返しの練習には触れていません。しかしながら、今回の調査結果を見ると、例えば、

- ・小学校国語において、「文の中で漢字を正しく使う（関心）」（正答率 35.8%）
- ・小学校算数において「 $6+0$ 、 $5\times 2$ を計算する」（正答率 57.2%）
- ・中学校英語において、「（内容に関する条件は満たしているが）語や文法事項等の誤りがある」（33.0%）といった基礎・基本の定着に関して課題が見られています。

こういった課題の解決を図るために、単なる繰り返し練習を行うだけでなく、それを活用する場面や目的、状況等を設定し、その中で変化させながら繰り返していくといった活動が大切です。

# (1) 小学校国語

① 目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書くこと【1三】

[正答率：兵庫県26.3%、全国28.8%]

## 調査問題

**高橋さん**の学級では、生活の中で気になったことを調べ、友達に報告することにいる【報告する文章】です。これをよく読んで、あととの問い合わせに答えてましょう。

**【報告する文章】**

はじめに  
先日外出したときに、家に電話をかけようと近くの店に行くと、あつたばはの公衆電話がなくなっていて、こまつてしましました。また、よく行く公園の公衆電話も、いつの間にかなくなっていました。わたしは、公衆電話の数を調べてみると、町の公衆電話の数を調べてみると、その数が減っていました。それを見たものが【資料1】です。平成二十年度から二十九年度までの十年間で、約半分にまで減っていました。それで、公衆電話は、わたしたちにどうか調べてみることにしました。

（1）公衆電話はどのようなときにはどのようないい方や特ちょうがあるのか

（2）公衆電話にはどのような使い方や特ちょうがあるのか

（3）公衆電話の設置場所

（1）公衆電話はどのようなときにはどのようないい方や特ちょうがあるのか

（2）公衆電話にはどのような使い方や特ちょうがあるのか

（3）公衆電話の設置場所

### 【問題の概要】

生活の中で気になったことを調べ、報告するための文章を書く場面。「2 調査の内容と結果」の「(1) 公衆電話はどのようなときに必要なのか」と「(2) 公衆電話にはどのような使い方や特ちょうがあるのか」の両方から、分かったことについて書く。

### 【正答例】

「公しゅう電話は、主にけいたい電話を使うことができないときに必要とされていたり、きん急のときにも使うことができたりするからです。」

## このような誤答が多く見られます

※割合は兵庫県の結果

- 「(1) 公衆電話はどのようなときに必要なのか」と「(2) 公衆電話にはどのような使い方や特ちょうがあるのか」のうち、どちらか一方の分かったことしか書いていない。((1)のみ16.9%、(2)のみ6.6%) → (1)と(2)の両方が理由になることに気付いていない。
- 「調査の内容と結果」のうち、分かったこと(結果)以外の内容について取り上げている。(9.5%)  
(例)「多くの人がけいたい電話をもつ中で、公しゅう電話が必要とされているのかどうかを調べてみました。」 → 「調査内容」と「分かったこと」を区別できていない。
- 書かれている内容を取り上げず、自分が考えたことを書いている。(25.3%) → 「調査内容と結果」からずれていることに気付いていない。

理由や根拠を明確にして書くことに課題

課題の解決に向けて

## その基礎となる「資料を読み取る力」も必要です

今回の調査 1では、

約3割の児童が、それぞれの資料を用いる目的が理解できていませんでした。

### 【問題の概要】

それぞれの図や表を用いた目的を選ぶ。

- ①現在と過去の様子を並べて示し、二つのちがいを伝えるため。
- ②内容ごとに分類して示し、大まかな特徴を伝えるため。
- ③年度ごとの数値をグラフで示し、移り変わりを伝えるため。
- ④記号や印などを使って示し、実際の位置を伝えるため。
- ⑤説明したい場所やものを写真で示し、実際の様子を伝えるため。

〈正答 資料2：②、資料3：④〉

〈資料2〉 公衆電話が必要な理由のまとめ(複数回答)	
けいたい電話をわざったときに必要	22人
けいたい電話の電池が切れたときに必要	12人
けいたい電話の使用が禁止されている場所にいるときに必要	5人
けいたい電話の電波がとどかない場所にいるときに必要	4人
けいたい電話や家の電話がつながりにくいときに必要	3人
その他	5人



### 授業改善のポイント

- ・資料の使用目的や意図について話し合うなど、資料の効果的な使い方を考える場面を設定する。
- ・調べた目的・結果・自分の考えの関連を整理させ、それぞれの整合性を検討させるようにする。

上記のポイントをもとに、普段の授業を振り返ってみましょう。

### こんな児童の姿は見られませんか？

インターネットで検索したらたくさん資料が出てきたけど、どれを使えばいいの？



目的意識をもって、資料を集められていない。

カラフルな資料をいっぱい使っているし、きれいな字で書いているから手にまとめられているね。



### こんな指導になっていませんか？

目的に合った資料を集めて文章を書きましょう。



目的に合った資料を集めるための手立てを講じていない。

どのレポートがうまくまとめられているか、グループで話し合いましょう。



文章等を見る視点を明確にしないまま、話し合いを行っている。

具体的な実践例は次ページ

## 【小学校国語①】

目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書く力を育む授業実践

单元名：資料を生かして呼びかけよう（第6学年 東京書籍）

ねらい（B書くこと）

目的や意図に応じて、効果的な文章の構成を考えたり、図表やグラフを用いたりして、自分の考えを書くことができる。

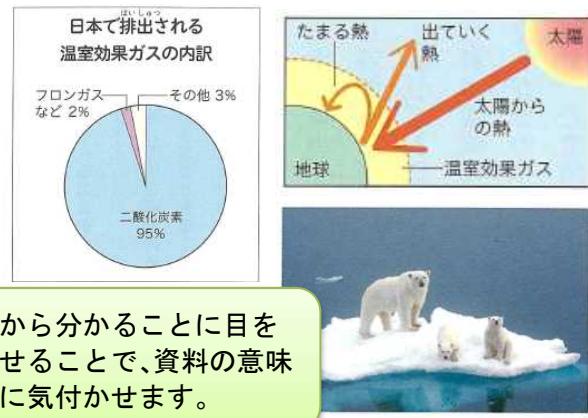
### 【学習の流れ】

- |     |                                |
|-----|--------------------------------|
| 第一次 | 資料を読み取り、効果的な活用について考える⇒下記参照     |
| 第二次 | 効果的に資料を活用して、意見文を書く⇒右ページ上部参照    |
| 第三次 | 他教科等で学習したことを生かす方法を考える⇒右ページ下部参照 |

### 知識・技能を身に付ける

〈ねらい〉図等の資料を、目的や意図に応じて、どのように用いればよいかが理解できる。

#### ○写真や図、グラフから読み取ることを考える



それぞれの資料から、どのようなことが分かりますか。

温室効果ガスのせいで熱がたまって暑くなるんだね。

ホッキョクグマは、氷がなくなると困るね。

Point 資料から分かることに目を向けさせることで、資料の意味や特徴に気付かせます。

#### ○例文をもとに、どのような意図で図等が用いられているのかを考える

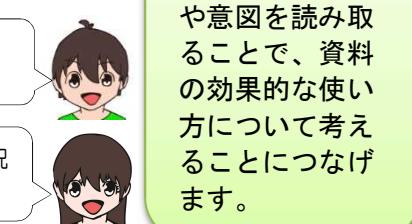


筆者はどうして、この資料を用いようと思ったのでしょうか。

図を用いて、太陽からの熱が地球のまわりにたまっている様子をイメージしやすくしていると思います。

写真を用いて、北極の氷がなくなってきた様子を詳しく伝えたかったと思います。

#### ○写真や図、グラフのどのような効果があるのかを考える



それぞれの写真、図、グラフには、それぞれどんな効果がありますか。

図を用いると、文章の内容がイメージしやすくなるね。

量や割合を比べて見せたいときはグラフがいいね。

写真を用いると、様子や状況が分かりやすく伝わるね。

Point 資料の使用目的や意図を読み取ることで、資料の効果的な使い方について考えることにつなげます。

### 主体的・対話的で深い学びにつながる指導のポイント

自分達で図等から読み取ることを考えたり、どのような目的で用いられているのかを考えたりすることで、図等の効果や目的に応じた用い方について理解を深めることができます。

## 学んだことを深める

〈ねらい〉目的や意図に応じて図やグラフ等を用い、意見文を書くことができる。

### ○意見文で伝えたいことを明確にする

緑のカーテンの写真から、温暖化を防ぐ取り組みを伝えたいな。



### ○考えを伝えるために効果的な資料を考える



緑のカーテン以外には、どの資料を用いればいいですか。

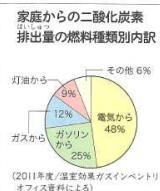
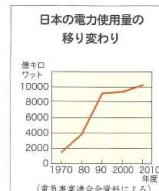
電力使用量が増え続けているグラフを使うと、緑のカーテンが必要だということが伝わりやすいよ。



緑のカーテンでどれくらい電力の消費量が減るか、内訳があれば具体的に説明できるね。



結論とそれぞれの資料から分かることがどのように関連しているか整理しましょう



家電製品の電力消費量の内訳

家電製品	%
電気冷蔵庫	14
照明器具	13
テレビ	9
エアコン	7
電気温水器	5
その他	52



資料と資料の関連性を考えることで、伝えたいことと整合性のある資料を選ぶことができるようになります。

### ○伝えたいことと資料の整合性を視点に話し合う



次のポイントに気を付けて、良い点と改善点を話し合いましょう。

- ・伝えたいことが明確になっているか
- ・伝えたいことに合った資料を使っているか

#### 主体的・対話的で深い学びにつながる指導のポイント

同じテーマ、共通の資料を用いて意見文を書くことで、同じ視点で資料と文章の整合性などについて話し合うことができるようになります。

## 生活や他の学習につなげる

〈ねらい〉図やグラフ等を効果的に活用し、目的や相手を意識した文章を書くことができる。

### ○伝えたいことや伝えたい相手を明確にする(委員会)



委員会活動や普段の生活でもっと良くなればいいことはありますか。



誰にどんなことを伝えたいですか。

今年の読書週間は、もっとたくさん読んでほしいな。



普段から、読書をしない子に本の面白さを伝えたいな。



目的や伝えたい相手を明確にして意識することで、効果的な資料の選択や表現の工夫につながります。

### ○目的に応じた資料を集め、ポスターや新聞を書く(社会科)



クリーンセンターで見学したこと全般生に伝えます。どんな資料を用いて、何を伝えますか。

毎日たくさんのごみが出ていることを伝えたいな。センターに集められたごみの写真があるといいかな。



1年生にもわかるようするには、どんな工夫をすればいいですか。

1日に清掃車何台分のごみが集まるか、絵や数字があると1年生でもわかりやすいよ。



#### 主体的・対話的で深い学びにつながる指導のポイント

本単元の学習を生かして、委員会活動等で実際に資料を用いて文章を書くことで、学習内容を深めたり、生活とのつながりを実感したりできるようにします。

## ② 話し手の意図を捉えながら聞き、自分の考えをまとめること【3三】

[正答率：兵庫県 62.4%、全国 68.2%]

## 調查問題

このような誤答が多く見られます

※割合は兵庫県の結果

- 大谷さんの仕事への思いや考えについて、【インタビューの様子】の大谷さんの発言から、言葉や文を取り上げて書いているが、インタビューにふさわしい言葉遣いで書いていない。(9. 1%) →常体と敬体の使い分けができない。
  - インタビューにふさわしい言葉で書いているが、大谷さんの仕事への思いや考えについて、【インタビューの様子】の大谷さんの発言から、言葉や文を取り上げていない。(5. 8%) →話し手の意図に着目せず、想像したことを書いている。  
(例)  
「部屋のゆかにすき間もだん差もなくぴたりとおさめることができるところにとて  
もおどろきました。」
  - 無解答率 (17. 1%) ←条件作文への抵抗か、時間が足りなかったかは不明。

目的や条件に応じ、必要な情報をもとに自分の考えをまとめることに課題

課題の解決に向けて

## その基礎となる「目的に応じた質問をする力」も必要です

今回の調査 ③二) では、

**約3割の児童が、話の展開を踏まえた上で、質問の工夫を捉えることができませんでした。**

### 【問題の概要】

質問の工夫として適切なものを選ぶ。

- ①相手の思いをさらに引き出すために、相手がくり返し発言した言葉を用いながら質問をしている。
- ②相手に質問をする理由を理解してもらえるように、インタビューの目的を伝えてから質問をしている。
- ③相手が答えやすいように、自分が知りたいことについて言葉をかえてもう一度質問をしている。
- ④相手の話の中に分からぬ言葉があったため、その言葉の意味を確かめる質問をしている。

<正答 ③>

### 授業改善のポイント

- ・聞きたいことを可視化させて整理することで、目的に応じた質問をさせる。
- ・モデル文等を活用し、意図に応じた質問の仕方を考えさせる。
- ・聞き取った情報やそれに対する自分の考えを内容ごとに整理させる。

## 上記のポイントをもとに、普段の授業を振り返ってみましょう。

### こんな児童の姿は見られませんか？

○○さんは●●って言ってる  
けど



話し手の意図を捉えながら聞く意識がない。

3回も質問ができたよ。



質問回数のみで学習をした気になり、質問の意図が理解できていない。

たくさん話が聞けたよ。  
全部まとめに入れよう！



複数の情報から、必要な情報を見つけだせない。

### こんな指導になっていませんか？

なにか質問をしましょう。

質問がたくさんできましたか。

自分の考えをまとめましょう。

聞き出したい内容について自分の考えをもたせていない。



相手の意図を捉えたよい質問とはどんな質問かを考えさせていない。

目的や条件に合う必要な情報が聞き出せたかを自分の考えとの共通点や相違点を考えさせる指導なく、児童に活動を委ねている。

**具体的な実践例は次ページ**

## 【小学校国語②】

話し手の意図を捉えながら聞き、自分の考えをまとめる力を育む授業実践

単元名：きいて、きいて、きいてみよう（第5学年 光村図書）

ねらい（A話すこと・聞くこと）

話の意図を考えて聞き合い、「聞くこと」について考えることができる。

### 【学習の流れ】

第一次 友だちについて知っていることを書き出す。⇒下記参照

第二次 友だちに聞いてみたい話題を挙げ、質問を考える。⇒下記参照

第三次 インタビューをしてわかったことをまとめる。⇒右ページ上部参照

単元後 総合的な学習の時間に外国の方にインタビューをする。⇒右ページ下部参照

### 知識・技能を身に付ける

〈ねらい〉 インタビューの目的を明確にし、聞きたい内容を整理する。

#### ○知っていることを視覚化し、自分の考えを明確にする



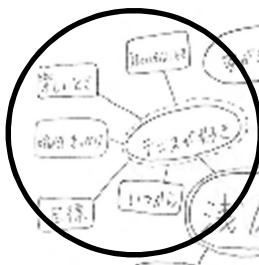
この中で一番聞きたいことは何ですか？どうしてそう思いましたか？

浅原さんはテニスをやっているとき生き生きとしているから、浅原さんにとってのテニスとは何かを聞いてみよう。



知っていることを視覚化させたり、聞きたいことの理由を確認したりすることで、「○○について聞きたい。」という目的を明確にすることができます。

#### ○相手の回答をイメージしながら聞きたいことを話し合う



浅原さんは毎日楽しそうにテニスをしているけれど、辛いときもあるはず。それをどう乗り越えているか聞けると、もっと浅原さんのことを知ることができるな。



相手の回答をイメージしながら、主な質問や話を広げたり深めたりする質問を考えます。

#### ○教科書のモデル文から、質問の仕方について話し合う



答える側の立場になって、工夫していると感じる質問はありますか。

答えたことをさらに詳しく聞いている質問があります。



「練習に打ちこむきっかけ」を聞いてるのは、内容の確認だと思います。



答える側の立場で考えることで、目的によってどのような要素を入れるとよいかを考えられるようになります。

### 主体的・対話的で深い学びにつながる指導のポイント

インタビューの目的を明確にし、インタビュー前に自分の考えを具体化して教科書のモデル文で具体的な質問の仕方を考えることで、インタビューの仕方を身に付けることができるようになります。

## 学んだことを深める

〈ねらい〉質問をして得た情報を取捨選択し、わかったことや考えたことをまとめること。

### ○話の展開に沿って、目的に応じた質問をしているかどうか確認する。



浅原さんは、テニスをしているときが一番楽しいと言つていましたが、逆に辛いと思うことはありませんか。



そうなんですね。ぼくはそんなとき、やめようかと思つてしまうのですが、やめたいとは思ひませんか。



このあと、どんな質問をすればよいでしょう。



浅原さんのテニスに対する思いを聞きたいから、これからの目標を聞いたらどうかな。

もちろんあります。サーブが入らない日が続いたときや、試合で全く勝てなかつたときは辛いです。



それはありません。辛さを乗り越えたらもっと楽しくなると思っています。



**Point** 話の展開や必要な情報を得るために目的を意識し、質問の内容を考えます。

### ○得た情報を取捨選択し、自分の考えをまとめること。



インタビューした内容を「事実」と「相手の考え」に整理しましょう。



最初の自分の考えと比べながら、整理した内容ごとに必要な情報を入れて自分の考えを書きましょう。



**Point** 聞き取った内容やそれに対する自分の考えを整理させることで、必要な情報を取捨選択し、自分の考えが書けるようになります。



## 主体的・対話的で深い学びにつながる指導のポイント

自分の考えをまとめるために、最初の自分の考えと得た情報の共通点や相違点を捉えて整理するようにします。

## 生活や他の学習につなげる

〈ねらい〉相手の発言の意図を捉えながらインタビューをすることができる。

### ○総合的な学習の時間

#### 外国の方へのインタビュー



日本にはアメリカから来た食べ物がたくさんあるなあ。アメリカの人は、和食は食べるのかなあ。



**Point** 国語での学習を生かし、意図を確認したり掘り下げたりする質問を工夫させます。



ぼくはフライドポテトが大好きです。アメリカでもポテトは食べますか？



もちろんです。日本にもM社があるでしょう。アメリカが本場です。アメリカではポテトをたくさん食べますよ。



そうか！M社はアメリカからきたのですね。ポテト以外にどんな食べ物が人気ですか？



**Point** 相手の回答をイメージしながら質問をすることで、聞きたいことを聞くことができます。

パンはどうですか？

和食は食べますか？

## 主体的・対話的で深い学びにつながる指導のポイント

本単元の学習を生かして、他教科や特別活動でのインタビューや話し合いを行うことで、目的に応じた質問の仕方を工夫したり、自分の考えを形成したりできるようにします。

## (2) 中学校国語

- ① 話し合いの話題や方向をとらえて的確に話したり、相手の発言を注意して聞いたりして、自分の考えをまとめること。【2三】

【正答率：兵庫県59.7%、全国60.4%】

### 調査問題

この前、インターネットのニュースを見て、高齢者の中には少しの段差でも歩きづらいと感じたり、段差に気付かずに驚いたりしている方がいることを知りました。文化祭には、毎年、高齢者がたくさんいらっしゃいます。ですから、体育館に向かう通路などに、「段差に気を付けてください。」と書いた紙を掲示してはどうでしょうか。

ネットにそのようなニュースが出てるんですね。掲示物で注意を促すのはよいアイデアだと思います。例えば、校内に「土足禁止」という掲示物がありますが、展示や発表を見に来てくれる方に対する言葉の使い方としては、ふさわしくないと思います。別の表現にしてはどうでしょうか。

そうですね。段差への注意を促す掲示物を作ることにしましょう。「土足禁止」をどのような表現に直すのかについては、話し合わないといけませんね。以前から、私も気になっていました。

（議題）地域とのつながりを大切にした文化祭にするために、一生徒会が地域で行っていることについての展示・高齢者向けの施設での交流会の様子・地域の清掃活動の様子

（問題の概要）山下さんも気になっていました。それに、例年、展示や発表の場所が校内に点在しているので、見て回る経路の例を示した紙を配るといいます。

地域とのつながりを大切にした文化祭にするために、生徒が取り組むことについて話し合っている場面。「どうするか決まっていないこと」について、話し合いの流れを踏まえて「どうするか決まっていない」ことが何かを明確にし、解決する具体的な案を取り入れて、実際に話すように自分の考えを書く。

（正答例）「土足禁止」という表現をどのように直すのかについてです。私は、文化祭に来てくださる方に対しては、「ここで靴を脱いでお上がり下さい。」のように直すとよいと思います。皆さんはどう思いますか。

### このような誤答が多く見られます

※割合は兵庫県の結果

- 話し合いの流れを踏まえて「どうするか決まっていないこと」とは何かを指摘することはできているが、それを解決する具体的な案を示すことができない。(9.3%)  
(例)「土足禁止」という掲示物の表現についてまだ話し合っていません。
- 話し合いの話題や方向を適切に捉えることができていない。既に結論の出ている「段差への注意を促す掲示物」や「展示や発表の場所が決まってから検討」することになった「具体的な経路の例」について、今この場で話し合う必要があると捉えている誤答もある。(20.4%)

→ 話し合いの話題や方向を捉え、自分の考えを持つことに課題

課題の解決に向けて

## その基礎となる「相手に分かりやすく伝わる表現についての知識」も必要です

今回の調査 2回では、

**約3割の生徒が、発言の意図や工夫を読み取ることができていませんでした。**

### 【問題の概要】

話し合いでの発言について説明したものとして適切なものを選択する。

場面③における西野さんの発言

- 1 の一部を具体的に言い換えて確認しながら、自分の考えを示している。
- 2 の一部を取り上げ、様々な考えを出し合うように周囲に促している。
- 3 の要旨をまとめながら、話し合いを通して導かれた結論を述べている。
- 4 と他の人の発言との相違点を示し、議論の要旨を確認している。

<正答：1>

### 授業改善のポイント

- ・話し合いの中での発言に込められた意図や工夫点について考える場面を設ける。
- ・話し合いの前に自分の考えを明確にさせ、話し合いの内容と自分の考えを比較しながら話し合いに参加させる。

**上記のポイントをもとに、普段の授業を振り返ってみましょう。**

**こんな生徒の姿は見られませんか？**



○○さんと○○さんは同じ立場なのかな？

表現や話し方をもとに、相手の意図や立場を考えられない。

○○な意見が出たけど・・・

話し合いの流れや方向を捉えて質問をしたり意見を述べたりできていない。



**こんな指導になっていませんか？**



しっかり聞きましょう。

必要に応じて記録したり、質問したり言い換えたりするなど、話の内容を捉える指導ができない。

グループ内で、自分の考えをどんどん言いましょう。



司会の仕方やまとめ方の具体例を示すなど話し合いの手立てを講じたり、話し合いの方向性を的確に指示したりできていない。

**具体的な実践例は次ページ**

## 【中学校国語①】

話し合いの話題や方向をとらえて的確に話したり、相手の発言を注意して聞いたりして、自分の考えをまとめる力を育む授業実践

単元名：流れを踏まえて話し合う（第1学年 光村図書）

ねらい（A 話すこと・聞くこと）

話題や方向を捉えて話したり相手の発言を注意して聞いたりすることができる。

【学習の流れ】

第一次 流れを踏まえて話し合う（話し合いの例から、流れを理解する）⇒下記参照

第二次 グループディスカッションをしよう⇒右ページ上部参照

単元後 合唱コンクールに向けてのスローガンづくりをする⇒右ページ下部参照

### 知識・技能を身に付ける

〈ねらい〉 グループでの話し合いをとおして、自分の考えを伝え、相手の発言を整理する。

#### ○話題について自分の意見をまとめ、カードをもとにグループで意見を出し合おう



「学校図書館の利用を活性化するにはどうすればよい  
か」、自分の意見を「話すことカード」に書いてみよう。

（話すことカード）

話す（意見・伝えたい内容）
星休みに図書委員による朗読会を行う。
（理由）
自分で読むより、気楽に参加できるから。



Point 「話すことカード」をもとに自分の意見を伝え、友だちの意見と比べながら、「聞くことカード」にメモをとります。

メモをとる

（聞くことカード）

聞く（Cさん）の意見	
伝えた	読んだ本の冊数を競う大会
いこと	（クラス別対抗戦）
共通点	本に親しむこと
相違点	学校全体で取り組むこと
その他	競うことがいいかどうか

#### ○「聞くことカード」の意見を個人で整理した上で、相手の意見との違いについて考えよう。



自分の「聞くことカード」を参考に、友だちの意見と自分の意見を比べてみよう。

最も伝えたいこと（要点）は、こういうことかな



○○さんの意見は、私とは違うけど、興味深いな



Point グループで話し合う前に、「聞くことカード」を似た意見で並べるなど、聞き取った内容を自分なりに整理する時間をとります。



各自が整理した意見をグループ内で比べて、確認してみましょう。



○○くんと●●さんの意見は共通点が多いから同じグループだな

根拠についてもう少し詳しく聞いてみよう

共通点は  
どこ？

（Aさんの）意見	
伝えた	読んだ本の冊数を競う大会
いこと	（生徒会による朗読会）
共通点	本に親しむこと
相違点	学校全体で取り組むこと
その他	競うことがいいかどうか

○○が共通  
している

（Bさんの）意見	
伝えた	先生のおすすめの本の紹介
いこと	（図書館の入り口に掲示）
共通点	本を紹介すること
相違点	紹介する場所
その他	図書館に人が来る工夫ができる

口口が共通  
している

（Cさんの）意見	
伝えた	読んだ本の冊数を競う大会
いこと	（クラス別対抗戦）
共通点	本に親しむこと
相違点	学校全体で取り組むこと
その他	競うことがいいかどうか

（Dさんの）意見	
伝えた	図書委員による朗読会の開催
いこと	（生徒会による朗読会）
共通点	新しい絆をつくること
相違点	図書委員の活動
その他	図書委員に人が集まるか

（Eさんの）意見	
伝えた	読んだ本の冊数を競う大会
いこと	（クラス別対抗戦）
共通点	本に親しむこと
相違点	学校全体で取り組むこと
その他	競うことがいいかどうか

（Fさんの）意見	
伝えた	読んだ本の冊数を競う大会
いこと	（クラス別対抗戦）
共通点	本に親しむこと
相違点	学校全体で取り組むこと
その他	競うことがいいかどうか

（Gさんの）意見	
伝えた	読んだ本の冊数を競う大会
いこと	（クラス別対抗戦）
共通点	本に親しむこと
相違点	学校全体で取り組むこと
その他	競うことがいいかどうか

（Hさんの）意見	
伝えた	読んだ本の冊数を競う大会
いこと	（クラス別対抗戦）
共通点	本に親しむこと
相違点	学校全体で取り組むこと
その他	競うことがいいかどうか

#### 主体的・対話的で深い学びにつながる指導のポイント

話し合いの前に、自分の考えを持って友だちの意見と、比較したり分類したりすることで、深まりのある話し合いにつなげることができます。

## 学んだことを深める

〈ねらい〉 話し合いの話題や流れを捉えて、意見を整理することができる。

### ○「ハーフタイム」を取り入れ、自分の意見を整理する



○○さんの意見のこの部分をもう少し詳しく聞きたいから質問してみよう。



○○と思っていたけど、●●さんの意見を聞いてみて、考えがかわってきたな

#### 【ハーフタイム】

話し合いの途中だけど、友だちの意見を聞いて、自分の考えをもう一度整理してみよう



○○くんの意見との違いがわかつてきたから、次は○○の部分について聞いてみようかな



話し合いの途中で「ハーフタイム」を設け、より深く質問したり、自分の意見を補足したり、友だちの意見と関連付けたりすることを通して、自分の意見を再度整理します。

### ○話し合いをワークシートに整理し、振り返る。



話し合いの流れを捉えて、グループディスカッションの前後で、自分の意見がどのように変化したのか、その過程をカードにまとめ、自分の考えの変化を振り返るようにします。

グループディスカッション前の意見  
クラス対抗で図書室利用キャンペーンをする。

	納得した意見	新たな発見
上	・義理の上に、借りるだけ借りて読む人が多くなっている。(吉田さん)	
中		・図書部の机で本を借りて、本に興味を持った。(中島さん)
下		・ちょうど今、新刊本がたくさん入っているらしい。(島さん)

グループディスカッション後の意見  
図書室前に本の紹介コーナーを設ける。



はじめは、ぼんやりとした意見だったけど、最後は本の紹介コーナーを設置するという具体的な意見になった。

## 主体的・対話的で深い学びにつながる指導のポイント

考え方の広がりや深まりなどを意識して、話し合いの過程を振り返ることで、根拠を明確にした意見や説得力のある意見とはどういうものかに気づき、他の単元や他教科での話し合い活動に生かせるようになります。

## 生活や他の学習につなげる

〈ねらい〉 学級での話し合いの場面で、話題や方向性を捉え、相手の反応を踏まえて自分の考えを述べることができる。

### ○クラスで合唱コンクールに向けてのスローガンづくりをする。



スローガンだから、短くてインパクトの強い言葉にしたいな。



司会をたて、話し合いの方向性を自分たちで決めていくとともに、参加者が話題の方向性を捉えて発言するようにします。

そうだね。でも私たちの目指していることがしっかり伝わらないとだめだよね。



まず、「私たちの目指していること」をみんなで共通理解してみよう。



そこから、スローガンに必要な言葉を探していくこともできるかもしれないね。

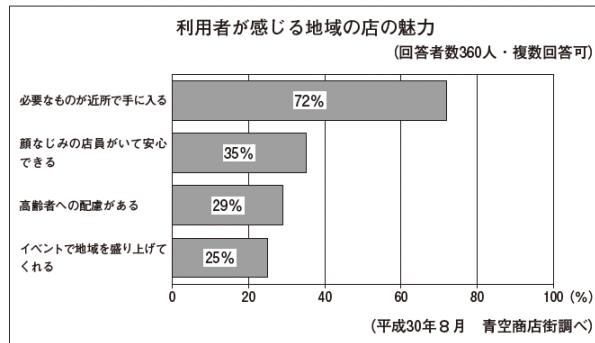
## 主体的・対話的で深い学びにつながる指導のポイント

たくさんの良い意見を出すための話し合いの工夫を自分たちで考えることで、内容にも深まりがでてきます。

## ② 伝えたい事柄について、根拠を明確にして書くこと【3二】

[正答率：兵庫県 74.9%、全国 77.8%]

## 調查問題



[広報誌の一部]

[意見文の下書き]

育木さんは、「地獄と私たちとのつながり」というテーマで意見文を書いています。次は、育木さんと、読み返したあと新たに取材して見付けた、育木さんが住んでいる地域の「伝統村の一部」に答えるなさい。

## 【問題の概要】

意見文の下書きを書く場面。意見文の下書きに書いた「魅力」の具体例について、【広報誌の一部】にある情報を用いて、【広報誌の一部】を見ていない人にも分かるように書く。

### 【正答例】

（「利用者が感じる地域の店の魅力」の結果からも分かることがある。例えば、）「顔なじみの店員がいて安心できる」という意見が三十五パーセントある。インターネットでの買い物とは異なり、店員と話をしながら買い物を楽しめることも、地域の店の大きな魅力であると考えられる。

このような誤答が多く見られます

※割合は兵庫県の結果

### (正答の条件)

- ①【広報誌の一部】にある情報を地域の店の「魅力」の具体例として用いて、【広報誌の一部】を見ていない人にも分かるように書いている。

②「また、昨年八月に青空商店街が行ったアンケート『利用者が感じる地域の店の魅力』の結果から分かることもある。例えば、」に適切に続くように書いている。

○上記の正答の条件のうち、条件②を満たし、条件①を満たさないで解答しているもの(12.1%)

資料の中にある情報を、自分が伝えたいことの根拠として用いて書くことに課題

課題の解決に向け

## その基礎となる「文章の展開に即して情報を整理し、内容を捉える力」も必要です

今回の調査 1回では、

約3割の生徒が、文章の展開に即して情報を整理し、内容を捉えることができませんでした。

### 【問題の概要】

「海外に広がる弁当の魅力」という記事を読み、そこで述べられている内容について、選択肢から適切なものを選んで解答する。

### 授業改善のポイント

- ・例文の内容（意見・事実・質問）を図や表等に整理させることで、内容を捉えられるようにする。
- ・意見や根拠を図等に整理し、整合性を確認しながら推敲させる。

上記のポイントをもとに、普段の授業を振り返ってみましょう。

### こんな生徒の姿は見られませんか？



筆者の言いたいことは、たぶんこんなことだと思います。どこからそう言えるんだろう。

文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見などを読み分け、要旨を捉えることができていない。



作文を書けと言われても、何を書いたらいいのか分かりません。

自分の伝えたいことを明確にすることができない。また、文章の構成や展開、文中の根拠の活用についても理解できていない。

### こんな指導になっていませんか？



筆者の意見を読み取りましょう。

原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解させていない。



根拠をはっきりさせて書きましょう。

資料を引用するなどの、根拠を明確にするための手法を理解させていない。

具体的な実践例は次ページ

## 【中学校国語②】

自らの意見を的確に書く力を育む授業実践。

単元名：思いや感覚に向き合い、考え方を確かなものに—意見文（第1学年）三省堂

ねらい：(B 書くこと)

事実や体験から導き出した自分の考え方を、根拠を明確にして書く。

【学習の流れ】

第一次 二つの意見文を読んで比較し、意見文を書く際の工夫点について理解する。⇒下記参照

第二次 意見文を書き、交流・推敲をする。⇒右ページ上部参照

第三次 他教科等で学習したことを生かす方法を考える⇒右ページ下部参照

### 知識・技能を身に付ける

〈ねらい〉 意見文を読み、記述の工夫点について考える。

#### ○二つの意見文を読み、比較する。

Aは、書いた人がそう考えた理由が分かったので納得できたよ。



Aは、意見の根拠になるデータが示されていて、説得力があった。



Point

根拠が示されている例文とそうでない例文を比較することで、記述の工夫点に気づきやすくなります。

#### ○モデル文の内容を、意見・事実・理由付けの三つに区別する。



Aの意見文を、意見・事実・理由付けに区別して、ワークシートにまとめましょう。



意見と事実だけじゃなく理由付けがあったから、納得できたんだね。



自分の意見と事実は区別して書く方がいいよね。



Point

三角ロジックを用いて例文の内容を整理することで、意見・事実・理由付けの関係に気づかせます。

#### ○意見文のテーマを確認し、意見を伝えるために効果的な資料を探す。



今回は「電車やバスの優先席が必要か」についての意見文を書いてもらいます。自分の意見をしっかりと伝えるためには、その根拠になる情報が必要です。どんな資料があればいいか話し合ってみましょう。



私は必要だと思うんだけど、どんな資料を集めたらいいかな。

なぜ必要だと考えるの？



この前困っている人を見かけたときに、席を譲った人を見ていいな、と思ったから。



Point

自分の立場を明確にして、なぜそう思うのかを考えさせ、理由に合う資料を話し合わせます。

自分の体験談をまとめて、困っている人って具体的にどんな人が示せるといいんじゃない？



### 主体的・対話的で深い学びにつながる指導のポイント

既習事項の確認を行い、知識の定着を目指します。その後に、自分たちで文章の工夫点を探し、自分の意見を伝える文章を書く際に注意すべきことについて理解を深められるようにします。

## 学んだことを深める

〈ねらい〉自分の意見を伝えるために、根拠を明確にした意見文を書くことができる。

### ○意見文で書きたい内容を明確にし、構成を考える。



意見文に書きたい内容を付せんに書き出し、ワークシートを使って並べ替えて、文章構成を考えましょう。



自分の経験は入れたいな。それと、資料はいつ説明するのかいいのかなあ。



付せんやワークシートを用いることで、段落構成を組み替えながら伝えたいことに適した文章構成かどうかを確認します。

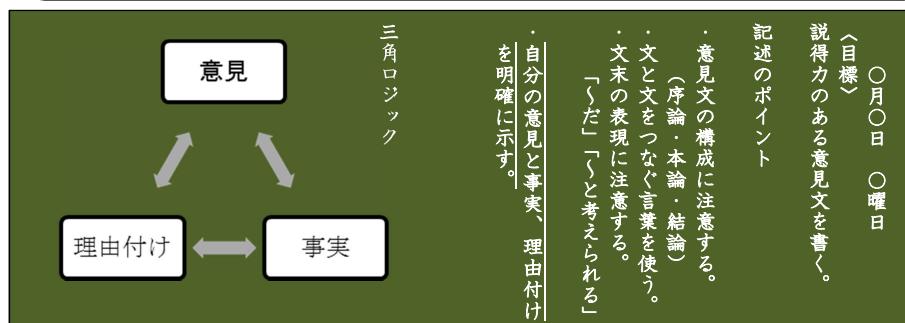
### ○意見文を書く



前回に比較した二つの文章を見直し、自分の意見が伝わりやすい意見文を書くためには、どのようなことがポイントだったか確認しましょう。また、これまで習ったものについても確認しましょう。



既習事項を振り返らせながら、説得力のある意見文にするためのポイントを整理します。



### ○各自が書いた意見文を交流し、ワークシートを用いてグループで推敲する。



ワークシートに従って相互評価をしましょう。意見と事実と理由付けがつながっているかに着目しましょう。



△ 三角ロジックをもとに、意見文を推敲させることで、資料と伝えたいことの整合性を確認できるようにします。

#### 主体的・対話的で深い学びにつながる指導のポイント

三角ロジックを用いて意見文を書くことで、資料を目的に応じて活用することを意識して活動することができます。

対話による推敲を通して、自分の学びが実感でき、さらに深く学びたいという意欲が生まれます。

## 生活や他の学習につなげる

〈ねらい〉自分の考えを適切に伝えるためにどのように注意すればよいか確認できる。

### ○ワークシートを用いて、自由研究レポートの内容を整理する。



意見文の授業で習ったことを思い出し、自分の意見と、その根拠、理由付けに整理しましょう。



意見文の学習で学んだ内容を、理科の学習にも生かせることを確認します。

### ○理科で行われる自由研究レポート発表会に向けて、発表の時の注意点を確認する。



実際に自由研究レポート発表原稿を作るときには、どんなことに注意しますか。

発表の順序や文末の表現に気をつけたいな。それに、意見と事実をしっかり区別して伝えないといけないね。



#### 主体的・対話的で深い学びにつながる指導のポイント

国語の学習を活かして、理科の自由研究レポート発表への準備をすることで、国語の学習内容をさらに深めたり、国語の力が他教科の学びの基礎となるものであると実感したりすることができます。

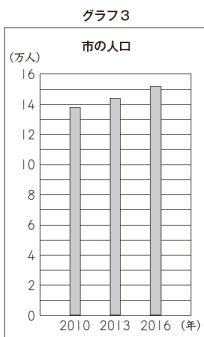
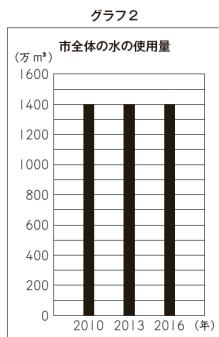
## (2) 小学校算数

- ① 二つの棒グラフから、一人当たりの水の使用量についてわかることを選び、選んだわけを書く【2 (3)】

【正答率：兵庫県53.7%、全国52.1%】

### 調査問題

かいとさんたちは、市全体の水の使用量には、人口が関係しているのではない  
かと思い、グラフ2とグラフ3を見つけ、2つのグラフをもとに考えています。



かいと

わたし  
私たち、水を大切に使っているといえるのでしょうか。



ゆうか

市全体の水の使用量はわかりますが、1人で水をどのくらい  
使っているのかはわかりません。



あやの

グラフ2とグラフ3を見ることで、1人あたりの水の使用量  
についてもわかります。

2010年から2016年までの、3年ごとの1人あたりの水の使用量について、どのようなことがわかりますか。

1から4までのなかから1つ選び、選んだわけを、言葉や数を使って書きましょう。

- 1人あたりの水の使用量は、減っている。
- 1人あたりの水の使用量は、変わらない。
- 1人あたりの水の使用量は、増えている。
- 1人あたりの水の使用量は、増えたり減ったりしている。

### 【問題の概要】

二つの棒グラフから特徴や傾向を読み取り、それらを関連付けて、1人あたりの水の使用量の増減を判断し、判断の理由を言葉や数を用いて記述する。

### 【正答例】

「1人あたりの水の使用量は、市全体の水の使用量÷市の人口で求めることができます。市全体の水の使用量は変わっていますが、市の人口は増えています。だから、1人あたりの水の使用量は減っています。」

### このような誤答が多く見られます

※割合は兵庫県の結果

○番号【2】を選択し、【わけ】を「市の人口は増えています。市全体の水の使用量は変わらないからです。」と書いている。(17.2%)

⇒市全体の使用量が変わらないことと、市の人口は増えてきていることは記述できているが、それらを関連付けることはできず、市全体の水の使用量が変わらないことから、一人当たりの水の使用量も変わらないと判断していると考える。

○番号【3】を選択し、【わけ】を「市の人口が増えているからです。」と書いている。(6.1%)

⇒市の人口が増えていることから、一人当たりの水の使用量も増えていると判断していると考える。



複数の資料の特徴や傾向を関連付け、考察し判断することに課題

課題の解決に向けて

## その基礎となる「グラフの特徴や傾向を読み取る力」が必要です

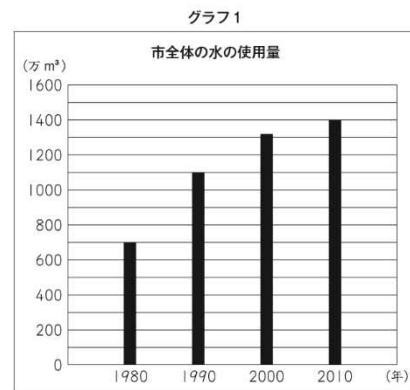
今回の調査 2 (2) では、

約2割弱の児童が、棒グラフから数量の大きさの関係を読み取ることができませんでした。

### 【問題の概要】

棒グラフから、2010年の市全体の水の使用量(1400万m<sup>3</sup>)が1980年の市全体の水の使用量(700万m<sup>3</sup>)の何倍かを読み取る。

〈正答 2倍〉



### 授業改善のポイント

- 複数の資料の特徴や傾向を関連付けて考えさせる機会を設ける。
- 複数の資料について、特徴や傾向等、気付いたことを話し合わせ、関連付けて考察し判断できるようにする。

上記のポイントをもとに、普段の授業を振り返ってみましょう。

### こんな児童の姿は見られませんか？

一人当たりの水の使用量が分かるグラフなんてどこにもないよ。



複数の資料を関連付けて読み取ることができない。

グラフ2とグラフ3を見て、一人当たりの水の使用量を考えればよいことは分かったけれど、増えたかどうかわかりません。



### こんな指導になっていませんか？

グラフ1を見て、わからることを言いましょう。



読み取らせたい視点を明確にできていない。

グラフ2とグラフ3を見比べて、わからることをまとめましょう。



複数の資料の特徴や傾向を関連付けて考察し判断するための手立てを講じていない。

具体的な実践例は次ページ

## 【小学校算数①】

資料を分類整理し、その特徴を捉え考察したり、見いだしたことを表現したりする力を育む授業実践

単元名：表とグラフ（第3学年 学校図書）

ねらい（D 数量関係）

資料を分類整理し、表やグラフを用いて分かりやすく表したり読み取ったりすることができるようとする。

【学習の流れ】

- 第1時：資料を分類・整理して表にまとめる
- 第2・3時：棒グラフの見方、よみ方⇒下記参照
- 第4・5時：棒グラフのかき方
- 第6時：簡単な2次元の表
- 第7時：2つの棒グラフの比較⇒右ページ上部参照
- 第8時：表やグラフの日常場面での活用⇒右ページ下部参照

【学習の系統】



### 知識・技能を身に付ける

〈ねらい〉 資料を分類整理したグラフから、その特徴を捉えることができる。

#### ○グラフの持つ特徴を捉える

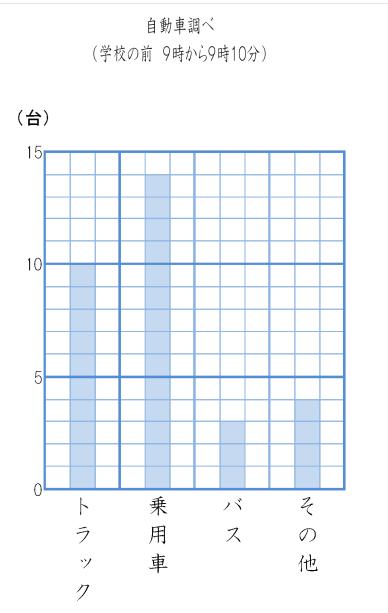


このグラフから何が分かりますか？



1番多い自動車がわかるよ。乗用車だね。

1番少ない自動車はバスだよ。乗用車と比べて  
11台も違うよ。



グラフのどこを見て考えましたか？



乗用車のグラフの一番上に線を引いて、バスの  
上あたりまで伸ばしました。



なるほど。その下の白いマスの数  
を数えたらいいんだね。確かに  
11台の差になるよ。



グラフのどの部分に着目して読み取った数値なの  
かをグラフと関連付けて説明させるようにします。

#### 主体的・対話的で深い学びにつながる指導のポイント

グラフから分かる特徴（数値）を読み取り、交流します。その際、グラフを見る視点を明確にし、読み取った数値をグラフと関連付けて説明できるようにします。

## 学んだことを深める

〈ねらい〉複数の資料をもとに特徴を捉え、考察することができる。

### ○2つのグラフから分かる特徴を捉える。



2つのグラフを見比べて分かることは何ですか？



複数のグラフを比較し、結果の違いについて考察させます。

どちらのグラフも乗用車の台数が一番多いよ。けれど、台数が違うよ。



それは、場所が違うからじゃない？乗用車以外の自動車も台数が違うよ。



場所が違うと、台数の多い順が変わるよ。学校の前と違って、駅の前ではバスが2番目に多いよ。

### ○他者が読み取った情報や観点をグラフと関連付けて説明する。



「バスが2番目に多い」って、どこを見て考えたのかわかりますか？



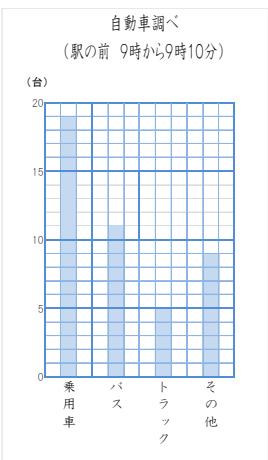
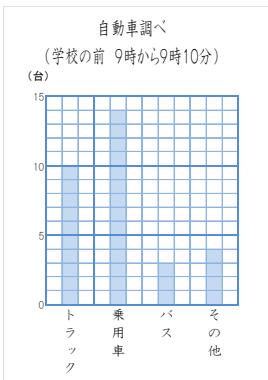
○○さんは、学校の前と駅の前でのバスの台数を見て、その違いを言っているよ。



他者の意見を説明し直すことで、情報や観点を明確にし、グラフと関連付けて考えられるようにします。

#### 主体的・対話的で深い学びにつながる指導のポイント

グラフの特徴を複数の観点から捉えて、情報を読み取らせる能够するようにします。また、他者が読み取った情報や観点をグラフと関連付けて説明する能够するようにします。



## 生活や他の学習につなげる

〈ねらい〉見いだした統計的な問題解決の方法を、実生活の問題の解決過程で生かすことができる。

### ○図書室で借りた本の数をクラスごとに調べ、1つのグラフにかき表す。



各クラスの本の数を1つのグラフにまとめてかきましょう。



複数のデータを総合的に比較し、検討するために1つのグラフにまとめさせます。

### ○グラフの特徴を複数の観点から捉え、考察する



一番人気の本は何でしょうか？



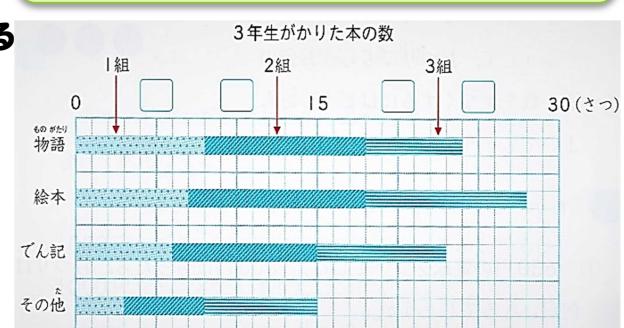
絵本の冊数が一番多いよ。だから、一番人気の本は絵本でしょ。



でも、1組は物語の冊数が一番多いよ。それでも絵本が一番人気と言えるのかな？



全体で見る場合とクラスで見る場合とでは、結果が変わることもあるんだね。



グラフの特徴を複数の観点から捉え、それを根拠として説明させます。

#### 主体的・対話的で深い学びにつながる指導のポイント

本単元の学習を生かして、図書室で借りた本の数をクラスごとに比べることで、学習内容を深めたり、生活とのつながりを実感したりできるようにします。

② 示された除法の式の意味を理解していること【3 (4)】

[正答率：兵庫県48.1%、全国47.0%]

調査問題

問題

リボンを0.6m買ったときの代金が180円でした。

このリボン1m分の代金は、いくらですか。



1m分の代金は $180 \div 0.6$ の式で求めることができます。

ゆいなさんは、次のように、小数のわり算を整数のわり算にして答えを求めました。

$$\begin{array}{r} 180 \div 0.6 = \boxed{\text{■}} \\ \downarrow \times 10 \quad \downarrow \times 10 \\ 1800 \div 6 = 300 \end{array}$$

変わらない

だから、 $180 \div 0.6$ の答えの $\boxed{\text{■}}$ は、300です。

$1800 \div 6$ は、何m分の代金を求めている式といえますか。

下のあからえまでのなかから1つ選んで、その記号を書きましょう。

あ 0.6m分の代金

い 1m分の代金

う 6m分の代金

え 10m分の代金

【問題の概要】

$1800 \div 6$ は何m分の代金を求めている式といえるのかを選ぶ。

【正答】 い

このような誤答が多く見られます

※割合は兵庫県の結果

○番号【う】を選択し、6m分の代金を求めてしまっている。(22.1%)

⇒被除数と除数を10倍した $1800 \div 6$ の式の除数の6に着目して、6m分の代金を求めていると考えられる。

○番号【え】を選択し、10m分の代金を求めてしまっている。(15.1%)

⇒ $180 \div 0.6$ の式で1m分の代金を求めることができると思い、被除数と除数を10倍した $1800 \div 6$ の式では、10m分の代金を求めていると考えられる。

○3年生で学習した除法の性質を活用することができていない。



示された除法に関して成り立つ性質をもとにした計算の仕方を解釈し、適用することに課題

課題の解決に向けて

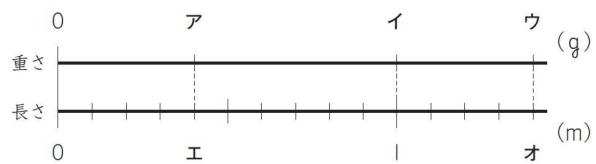
## その基礎となる「問題場面を図に表すこと」が必要です

H30 調査 A1 (2) では、

約3割の児童が、問題場面を対応数直線などの図に表し、数量の関係性を理解することができませんでした。

### 【問題の概要】

針金 1 m の重さが何 g になるかを考えます。  
1 m の重さを □ g として、針金の長さと重さの関係を図に表します。  
針金 0.4 m の「0.4」、0.4 m の重さ 60 g の「60」、  
1 m の重さ □ g の「□」のそれぞれの場所は、図のどこになりますか。



〈正答〉 0. 4 の場所…エ 60 の場所…ア  
□ の場所…イ

### 授業改善のポイント

- 問題場面を対応数直線などの図に表し、数量の関係性を理解させる。
- 式の意味理解を深めるために、図と式を何度も関連付けて考察させる。

上記のポイントをもとに、普段の授業を振り返ってみましょう。

### こんな児童の姿は見られませんか？

数直線図はかけたけど、どこに何の数字をあてはめたらいいの？



数量の関係性が分かっていない。

1 mあたりの重さってどうも求めたらいいの？



図を活用して演算決定につなげることができない。

### こんな指導になっていませんか？

まずは、問題文を数直線図に表してみましょう。



図をかく以前に二つの数量の関係性のイメージをもたせることができない。

図を使って式に表しましょう。



図の意味理解を深めさせることができない。

具体的な実践例は次ページ

## 【小学校算数②】

問題場面における数量関係を理解し図や式に表す力を育む授業実践

単元名：小数÷小数（第5学年 啓林館）

ねらい（A数と計算）（D数量関係）

小数でわることの意味がわかり、計算の仕方を理解し、筆算で計算することができる。

### 【学習の流れ】

第1時：整数÷小数の計算の仕方⇒下記参照

第2時：整数÷小数（純小数）の計算の仕方⇒右ページ上部参照

第3時：小数÷小数の計算の仕方

第4・5時：小数÷小数の筆算の仕方、小数点の位置と答えの確かめ

第6・7時：概数で処理する筆算の仕方、被除数、除数、商、余りの関係と小数点の位置

第8時：小数÷小数の日常場面での活用⇒右ページ下部参照

### 【学習の系統】

第3学年  
基準量を求  
める除法

第4学年  
簡単な割合

第5学年  
小数÷小数

第5学年  
割合

第6学年  
分数の乗法・除法

## 知識・技能を身に付ける

〈ねらい〉 問題場面における数量の関係を、図などを使って理解できる。

### ○問題場面を解釈し既習との違いを考え、課題解決の見通しをもつ。

2.4mのねだんが、96円のひもです。  
このひも1mのねだんは、何円ですか。



今まで習った問題と同じところはありますか。



1mのねだんを求めるのは整数のわり算と  
同じだね。



2.4で割るってどういうこと？

ということは、2.4で割るって  
ことだね。



2で割るならわかるけど…



小数のかけ算の時と同じように図で表  
したらわかるかな。



既習事項と比較し、共通点や相違点を考えさせ  
ることで、問題解決に向けた見通しを持たせます。

### ○問題場面における数量関係を理解し図や式に表す。



どこにどんな値や単位を書けばいいですか



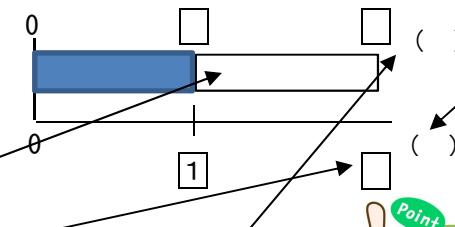
2.4mということは、  
1よりも長くなるな。



ここに2.4が入るね。



ということは96を2.4で  
割れば求められそうだよ。



1m分のねだんを求  
みたいから…  
こっちが「m」になるよ。



場面と式と図を関連付け  
て考えさせることで、数量  
関係の理解を深めます。

## 主体的・対話的で深い学びにつながる指導のポイント

既習との違いからどうやったら解けそうかの見通しをもたせる。また、図などを使って数量の関係性をイメージさせ、理解できるようにします。

## 学んだことを深める

〈ねらい〉 問題場面における数量の関係を理解し、図などを使って問題解決できる。

### ○ 1より大きい小数で割る考え方を活用し、1より小さい小数で割る問題を解く。

0.8mで96円のリボンの  
1mのねだんは、何円ですか。

※ $96 \div 2.4$  の計算のしかたを考えた後の活動

前の問題での考え方を使って図に表してみましょう。



あれ？ 1より小さいよ。



答えが 96 円より高くなるんじゃない。



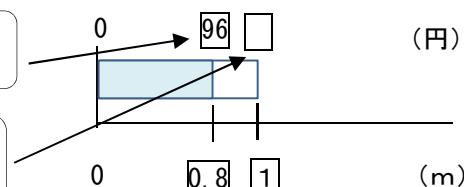
どうして商が割られる数より大きくなったのかな。



だから  $96 \div 0.8$  をすると 96 円より大きくなると思う。



では、どうやって解くといいですか。



1は0.8より0.2個分大きいから値段も大きくなるんじゃない。



Point: 商が被除数より大きくなる意味を既習の考え方や数直線を用いて考えさせてることで、商が被除数より大きくなる意味を理解できるようにします。



わる数の0.8を0.1の8倍として考えると…



0.8もわられる数も10倍して考えると…

#### 主体的・対話的で深い学びにつながる指導のポイント

既習の内容をもとにわる数が純小数の問題を解くことができるようになります。また、わり算をしても答えが大きくなる場合があることを理解できるようになります。

## 生活や他の学習につなげる

〈ねらい〉 日常場面でも図などを使って数量の関係を理解し、問題を解決することができる。

### ○ 日常場面で算数が使える場面を設定する



体育の授業で長縄をする予定なんだけれど、長縄がないね・・・。

ロープを切って長縄を作ろうよ！！



3.5メートルの長縄がちょうどいい長さなんだけれど・・・。

小数のわり算を使えばできそうだよ。



日常の場面にある事象から自分なりの問い合わせをもたせます。

### ○ 既習の内容を使って問題を解決する



ロープの長さは31.5メートルあるんだけど何チーム分作れるかな。



35mだったら10チーム分だね。



31.5mだったら9チーム分ぐらいかな。 $31.5 \div 3.5$  を計算してみよう！



### ○ 日常場面に返すことのよさを実感する



算数で習ったことが普段の生活でも使えましたね。

小数÷小数は、他の場面でも使えそうだよ。



Point: 既習内容を日常場面で活用し、問題を解決することのよさを実感させます。

#### 主体的・対話的で深い学びにつながる指導のポイント

本単元の学習を生かして、日常の場面で算数を使って問題解決することによって学習内容を深めたり、生活とのつながりを実感したりできるようにします。

## (2) 中学校数学

① 事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができること【6(2)】

[正答率：兵庫県36.6%、全国34.7%]

### 調査問題

冷蔵庫を購入して  $x$  年間使用するときの総費用を  $y$  円として、冷蔵庫Bと冷蔵庫Cの総費用を比べてみることにしました。(中略)

冷蔵庫Bと冷蔵庫Cの総費用が等しくなるおよその使用年数を考えます。下のア、イのどちらかを選び、それを用いて冷蔵庫Bと冷蔵庫Cの総費用が等しくなる使用年数を求める方法を説明しなさい。

ア、イのどちらを選んで説明してもかまいません。

ア それぞれの冷蔵庫の使用年数と総費用の関係を表す式

イ それぞれの冷蔵庫の使用年数と総費用の関係を表すグラフ

健太さんが作った表

	冷蔵庫A	冷蔵庫B	冷蔵庫C
容量	400 L	500 L	500 L
本体価格	80000 円	100000 円	150000 円
1年間あたりの電気代	15000 円	11000 円	6500 円

$$(総費用) = (本体価格) + \left( \begin{array}{l} 1 \text{年間あたりの} \\ \text{電気代} \end{array} \right) \times (\text{使用年数})$$

### 【問題の概要】

冷蔵庫Bと冷蔵庫Cについて、式やグラフを用いて、2つの総費用が等しくなる使用年数を求める方法を説明する。

### 【正答例】

ア. 冷蔵庫Bと冷蔵庫Cについて、使用年数と総費用の関係から連立方程式をつくり、それを解いて使用年数の値を求める。

イ. 冷蔵庫Bと冷蔵庫Cについて、使用年数と総費用の関係を一次関数のグラフに表して、その交点の座標を読み取り、使用年数の値を求める。

### このような誤答が多く見られます

※割合は兵庫県の結果

○ア、イいずれを選択していても、方程式やグラフを用いることのみを記述している。(アを選択5.7%, イを選択3.5%)

(例) 「グラフを使って調べる」←グラフを用いることは記述しているが、その用い方として、2つのグラフの交点の座標から、使用年数の値を読み取ることを表現することができていない。

○ア、イいずれを選択していても、式やグラフなどをどのように活用するかということを表現できない。(アを選択15.7%, イを選択7.0%)

(例) 「冷蔵庫Bと冷蔵庫Cの本体価格はCの方が高いが、1年間あたりの電気代はBの方が高いのでいつかは総費用が等しくなる」←グラフを用いることや、用い方として交点の座標から使用年数の値を求める表現できていない。



事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することに課題

課題の解決に向けて

## その基礎となる「数学的に表現したことを事象に即して解釈すること」も必要です

今回の調査 6 (1) では、

約6割の生徒が、グラフによって表されているものを、事象に即して解釈できていませんでした。

### 【問題の概要】

冷蔵庫 A の使用年数と総費用の関係を表すグラフについて、点 P の y 座標と点 Q の y 座標の差が表すものを選ぶ。

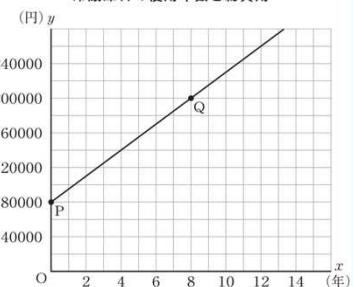
- ア 本体価格
- イ 使用年数
- ウ 1年間あたりの電気代
- エ 購入してから8年間の電気代
- オ 購入して8年間使用するときの総費用

〈正答 エ〉

健太さんが作った表

	冷蔵庫 A	冷蔵庫 B	冷蔵庫 C
容量	400 L	500 L	500 L
本体価格	80000 円	100000 円	150000 円
1年間あたりの電気代	15000 円	11000 円	6500 円

冷蔵庫 A の使用年数と総費用



### 授業改善のポイント

- ・事象とグラフの関係について読み取ったことを話し合わせる。
- ・問題解決の場面を設定し、一次関数や方程式などの数学的な表現を用いたり、その方法を説明したりさせる。

上記のポイントをもとに、普段の授業を振り返ってみましょう。

### こんな生徒の姿は見られませんか？

問題に出てきた数値や言葉を使って、計算したり、説明したりすればいいね。



事象がグラフにどのように表現されているか理解できていない。

方程式を解いたり、グラフを使ったりして答えを出せばいいんだよね。



数学を活用しようとしているが、何を意味しているのか理解していない。

### こんな指導になっていませんか？

問題文をよく読んで、式やグラフを使って答えを求めるましょう。



数学的に表現したことと、事象との関係を明確にしていない。

なぜ、方程式やグラフを使って答えを出したら良いのか考えましょう。



事象と数学的な表現との関係を明確にしないまま考えさせていく。

具体的な実践例は次ページ

## 【中学校数学①】

問題解決のために数学を活用したり、説明したりする力を育む授業実践

単元名：一次関数（第2学年 啓林館）

ねらい（関数）

日常生活における問題を解決するために事象を数学的に表現したり、数学を活用したりする方法を考え、説明できる。

【学習の流れ】

第1～10時：一次関数の基本的な知識と具体的な事象との関連付け

（知識・技能の習得を中心とした活動）

第11～13時：方程式とグラフ、連立方程式とグラフの関連について

第14時：一次関数を用いて具体的な事象の考察（活用を中心とした活動）

第15時：具体的な事象への一次関数の活用（探究を中心とした活動）

【学習の系統】

小学校第4学年  
変わり方

小学校第6学年  
比例と反比例

第1学年  
変化と対応

第2学年  
一次関数

### 知識・技能を身に付ける

〈ねらい〉 一次関数として学習した内容と具体的な事象を関連付けて考えることができる。

#### ○既習の比例のグラフと比較して学習する



一次関数のグラフと比例のグラフを比べて分かることは何ですか。

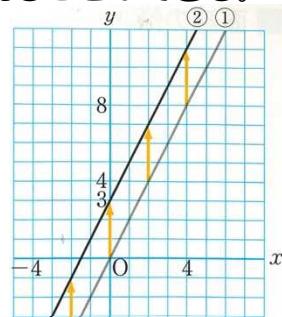


どちらのグラフも直線になっていて傾きは一定だね。

比例のグラフは必ず原点を通っていたけれど、一次関数のグラフはそうじゃないね。



一次関数のグラフは比例のグラフをy軸の方に向いて一定の量で動かしたものになっているね。

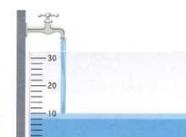


Point 一次関数のグラフは、比例のグラフと同じで傾きは一定で、比例のグラフを定数分だけ移動させたグラフになっていることに気付かせます。

#### ○一次関数と具体的な事象を関連付けて考える



水のように水をためる問題と一次関数との関係はどうなっていますか。



ためていく水の量は一定なので、グラフにすると傾きが一定であることに対応しています。



最初にたまっていた水の量が、グラフでは切片になっていて、比例のグラフをその量だけ移動させていくんだね。



Point 具体的な事象と一次関数のグラフで表されていることの関連づけができるようにします。

#### 主体的・対話的で深い学びにつながる指導のポイント

日常生活における問題を理想化したり、単純化したりして数学の問題としてとらえ、数学を活用して解決できるようにします。また、式や表、グラフなどを用いる方法とその用い方の説明ができるようにします。

## 学んだことを深める

〈ねらい〉 身のまわりの問題に一次関数を活用し、問題を解決できる。

### ○グラフを用いて問題を解決する



どのような場合にどのプランを用いればいいでしょう。

20分より短い場合は、Aプランが最も料金が安いです。



20分から80分までなら、Bプランです。



80分より長く使う場合はCプランが一番安いね。



長い時間使う人はCプランが合ってるね。

グラフを使って考えたことで、よかったです。

交点を見ると、料金が等しくなるおよその通話時間が一目で分かります。



横軸を見ると決まった料金に対して、1ヶ月にどれくらい話せるかが分かります。



1ヶ月あたり

#### Aプラン

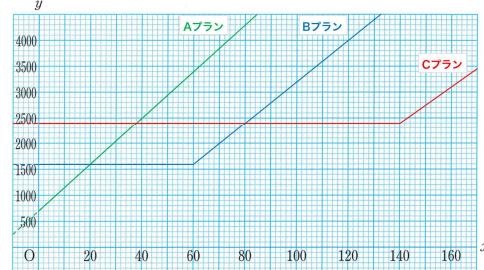
基本料金700円に加え、通話時間1分ごとに45円かかります。

#### Bプラン

基本料金1600円に加え、通話時間が60分をこえると、こえた分の通話時間1分ごとに40円かかります。

#### Cプラン

基本料金2400円に加え、通話時間が140分をこえると、こえた分の通話時間1分ごとに35円かかります。



どのプランがよいかを条件に合わせて考えさせることで、問題解決のために数学的な表現を用いる良さに気付かせます。

### 主体的・対話的で深い学びにつながる指導のポイント

グラフから分かることを話し合うことで、多面的な見方ができる気に気づかせる。また、それによりグラフで表現することの良さや有用性について確認できるようにします。

## 生活や他の学習につなげる

〈ねらい〉 数学を活用して問題を解くことの良さを実感し、問題解決に適した方法を用い、その用い方を説明できる。

### ○条件に合ったプランをグラフを使って考える。



次の条件で、3つのプランとは違うプランについて考えてみましょう。

#### (条件)

- ・通話時間1分の料金が一定。
- ・プランの中で通話時間が160分までは料金が常に2番目か3番目になる。



通話時間1分の料金が一定ということは、傾きが一定なので一次関数のグラフになります。

料金が常に2番目か3番目だから、グラフに表すと、新しいプランのグラフより高いグラフは1本か2本ということだね。



新しいプランは、通話時間が160分まで条件を満たせば良いから、AプランとBプラン、BプランとCプランそれぞれのグラフの交点を通る直線になるね。



発展的な問題解決の場面を提示することで、グラフの特徴をもとに考察できるようにします。



他にグラフは考えられないでしょうか…。

### 主体的・対話的で深い学びにつながる指導のポイント

数学を活用して問題を解くために、様々なアプローチがある事を知り、それぞれの良さや特徴を理解して、適切な方法を用いたり、その用い方を説明できたりするようにします。また、発展的な問題解決に向けて自ら学んだことを使って問い合わせたり、考えられたりするようにします。

② 分布の傾向を読み取り、批判的に考察し判断すること

【8 (2)】

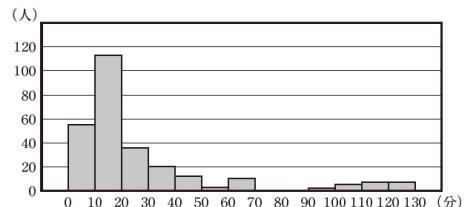
【正答率：兵庫県38.7%、全国40.8%】

調査問題

航平さんが作った表

	平均値	最大値	最小値
1日あたりの読書時間（分）	26.0	120	0

桃子さんが作ったヒストグラム



二人は、上の航平さんが作った表と桃子さんが作ったヒストグラムについて話し合っています。

航平さん「1日あたりの読書時間の平均値が26.0分だから、1日に26分ぐらい読書をしている生徒が多いといえそうだね。」

桃子さん「でも、ヒストグラムを見ると26分ぐらいの生徒が多いとはいえないのではないかな。」

桃子さんが作ったヒストグラムを見ると、航平さんのように「1日あたりの読書時間の平均値が26.0分だから、1日に26分ぐらい読書をしている生徒が多いといえそうだ」という考えは適切でないことがわかります。その理由を、桃子さんが作ったヒストグラムの特徴をもとに説明しなさい。

【問題の概要】

「1日に26分ぐらい読書をしている生徒が多い」という考えが適切でない理由を、ヒストグラムの特徴を基に説明する。

【正答例】

1日あたりの読書時間である26分は山の頂上の位置ないので、1日に26分ぐらい読書をしている生徒が多いというのは適切ではない。

このような誤答が多く見られます

※割合は兵庫県の結果

○「1日あたりの読書時間の平均」である26分が「度数が最大の階級」に、含まれていないことを明記できない。(9.6%)

(例) 10分以上20分未満の人が多いので、航平さんの考えは適切でない。

○ヒストグラムから読み取れる事実のみを記述している。(4.8%)

(例) ヒストグラムでは、10分以上20分未満の生徒が多いから。

○全ての設問の中で無解答率が最も高い。(22.8%)

・ヒストグラムの読み取りや代表値の理解が十分ではない。

・「ヒストグラムから読み取れる事実」と「平均値26分」をどのように関連付けるのかわからない。



平均値の正しい理解や目的に応じた資料の読み取りに課題がある

課題の解決に向けて

## その基礎となる「代表値の正しい理解」が必要です

今回の調査8(3)では、

約5割の生徒が、中央値と資料を結び付けられませんでした。  
約4割の生徒が、中央値と、平均値や最頻値を混同していました。

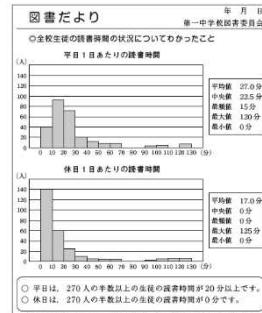
### 【問題の概要】

「全体の半数以上の生徒が該当する」ことを判断する際に注目するべき代表値を選択する。

- ア 平均値
- イ 中央値
- ウ 最頻値
- エ 最大値
- オ 最小値

アと解答 15.3%  
ウと解答 20.9%

〈正答 イ(中央値) 52.3%〉



### 授業改善のポイント

- ・代表値を用いる必然性を感じるような具体的な場面を設定する。
- ・代表値やヒストグラムの特徴について多面的に考察させ、代表値等の意味と関連付けて考えた根拠を説明させる。

上記のポイントをもとに、普段の授業を振り返ってみましょう。

### こんな生徒の姿は見られませんか？

ヒストグラムはかけるし、代表値も求められるからもう理解は十分だ。



ヒストグラムや代表値それぞれの断片的な理解にとどまっている。

平均点や、平均点に近い点数の人がたくさんいるということですね。



平均値と資料の分布の理解が関連付けられていない。

### こんな指導になっていませんか？

いろいろな代表値を求めましょう。



手続き的な知識の伝達やその演習だけにとどまっている。

目的に応じて代表値を使い分けるのは大切です。



実感を伴った理解になっておらず、生きた知識になっていない。

具体的な実践例は次ページ

## 【中学校数学②】

分布の傾向を読み取り、批判的に考察し判断する力を育む授業実践

単元名：資料の傾向を調べよう（第1学年 啓林館）

ねらい（D 資料の活用）

代表値などを用いて資料の傾向をとらえ判断することができる。

### 【学習の流れ】

第1・2時：度数分布図やヒストグラム、代表値の意味や求め方⇒下記参照

第3時：統計資料を用いた考察⇒右ページ上部参照

第4時：統計資料の日常場面での活用⇒右ページ下部参照

### 【学習の系統】

**小学校**  
目的に応じて資料を集めて分類整理し、円グラフや帯グラフを用いて表したり、特徴を調べたりする

**第1学年**  
ヒストグラムや代表値の必要性と意味を理解する

**第2学年**  
確率の必要性と意味を理解する

**第3学年**  
標本調査の必要性と意味を理解する

## 知識・技能を身に付ける

〈ねらい〉 度数分布図やヒストグラム、代表値の意味や用い方について理解することができる。

### ○代表選手の選び方にについて監督の立場で考える。

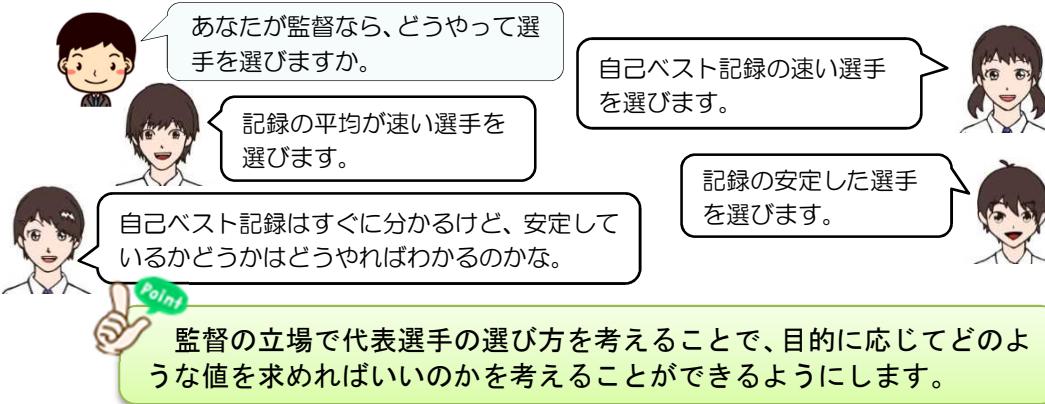
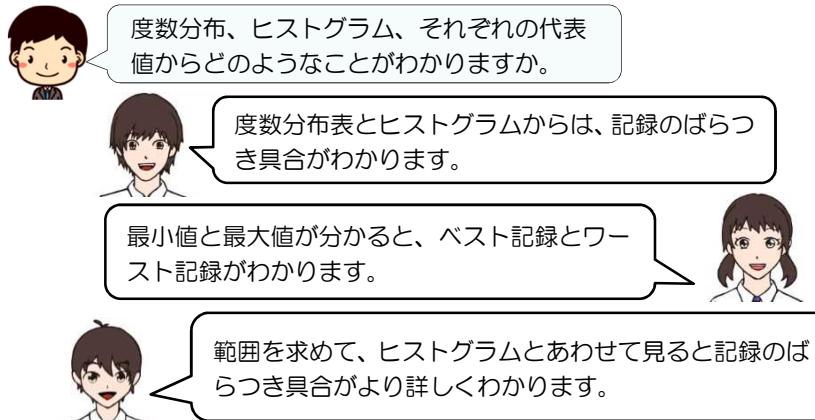


表1 自由形の記録(秒)

A選手	B選手
55.72	56.73
56.28	56.22
55.72	56.36
55.99	56.41
56.95	54.98
56.45	55.35
55.23	56.93
55.93	56.67
55.61	56.22
55.93	55.71
54.48	54.74
55.47	54.47
54.91	56.73
57.26	56.47
54.67	55.84
56.88	57.37
55.23	53.44
56.12	55.57
55.81	55.11
56.33	56.36

### ○度数分布表、ヒストグラムにまとめたり、代表値を求めたりする。

※度数分布、ヒストグラム、代表値の意味やまとめ方、求め方の学習後の活動



## 主体的・対話的で深い学びにつながる指導のポイント

具体的な場面と結び付けて考えさせることで、ヒストグラムや代表値を求める必要性を感じることができ、それぞれの意味と目的を結び付けて理解できるようになります。

## 学んだことを深める

〈ねらい〉 代表値やヒストグラムから資料の傾向をとらえ、その結果を基に説明することができる。

### ○代表値とヒストグラムの傾向を読み取り、根拠をもって代表選手を選ぶ。



資料の傾向を根拠にし、どちらの選手を選ぶか説明しましょう。

A選手もB選手も平均値はほとんど同じだから、どちらを選んでもいいと思うけど、0.1秒でも早いA選手を選びます。

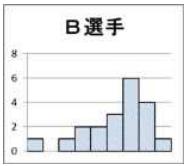
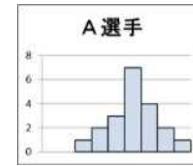


平均値はほとんど同じだけど、ヒストグラムの様子は異なります。A選手はきれいな山形です。B選手は左のすそが長い山形になっているので、A選手は記録が安定していて、B選手はばらつきが大きいことがわかります。私はA選手を選びます。



良い記録と悪い記録の差が大きいけど、最小値で調べると、自己ベストが出たときに勝てるので、B選手を選びます。

平均値だけで考えていたけど、ヒストグラムや他の代表値を使って考えるのも大切だと思いました。



ヒストグラムや代表値の意味と関連付けて根拠を説明させることで、データを用いて考えることの良さやデータの扱い方によって結論が変わることに気付かせます。

### 主体的・対話的で深い学びにつながる指導のポイント

根拠を明らかにして説明し合う活動を通じて、目的に応じたデータの活用についての理解を深めます。

## 生活や他の学習につなげる

〈ねらい〉 ヒストグラムの変化のようすから、実際の学校生活に当てはめて考察し、説明することができる。

〔資料〕全校生徒の登校時刻のヒストグラム 1週間分（6月と10月）

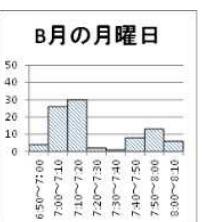
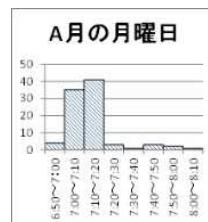
### ○時期の異なる資料を比較し、資料の変化を学校生活に当てはめて考察する。



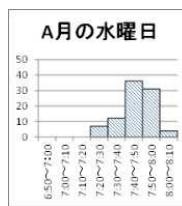
どちらが6月でどちらが10月の資料でしょうか。



ヒストグラムの形が異なる原因は何だろう。



では水曜日の資料からは、どんなことがわかるでしょうか。



朝練習の時間帯が少ないということは、3年生が部活を引退している時期だから…Bが10月だと思います。



資料から読み取ったことを、日常生活等の異なる事象と関連付けて考察するようにします。

### 主体的・対話的で深い学びにつながる指導のポイント

身近で具体的な資料を教材化することで、自分の生活体験等と関連付けながら、多面的に考察する力を育みます。

### (3) 中学校英語

#### ① 聞いた内容について、適切に応じること【4】

[正答率：兵庫県 6.3%、全国 7.6%]

調査問題

(放送問題)

英語の授業で、来日予定の留学生からの音声メッセージを聞くところです。

メッセージの内容を踏まえて、あなたのアドバイスを英語で簡潔に書きなさい。

(放送内容)

Hello. I'm Nick. I'm looking forward to meeting you. I'm going to stay in your country for two weeks. I hear that there are a lot of club activities in Japanese schools. I want to try some! Which club activities can I try? Can you give me some advice? I'm waiting for your answer. Thank you.

【問題の概要】

来日予定の留学生ニックから「日本の学校の部活動に参加してみたいので、何かアドバイスをしてほしい」という音声メッセージを聞き、その内容を踏まえて、アドバイスを英語で簡潔に書く。

【正答例】

You can try the judo club.

Why don't you join the music club?

### このような誤答が多く見られます

※割合は兵庫県の結果

○ニックができる部活動についてのアドバイスとして、内容が不適切である。(30.7%)

(例) Enjoy Japanese culture.

Sushi is the most famous in Japan.

○無解答 (46.1%)



日常的な話題を聞いて、内容や意図を把握し、それに対して適切に応答するこ  
とに課題

文法事項等の誤りがあるため、伝えたい内容が理解できない解  
答も 13.5% ありました。

(例) You want to can speak Japanese.



課題の解決に向けて

## その基礎となる「必要な情報を聞き取る力」も必要です

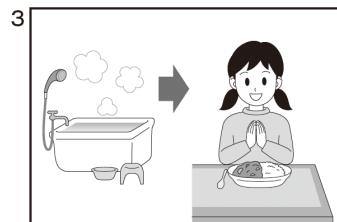
今回の調査 1 (4) では、

- before dinner という句から時間の前後関係を把握できず、情報を正確に聞き取ることができなかった。
- curry and rice, homework という聞こえてきた情報の順序で内容をとらえてしまった。  
⇒ 約4割の生徒が、必要な情報を正確に聞き取ることができていません。

【問題の概要】 以下の会話を聞いて、適切に表している絵を選ぼ。

A: I'm hungry.  
B: Today's dinner is curry and rice. It will take about thirty minutes to cook. Do you have any homework today?  
A: No, I don't.  
B: Then, take a bath before dinner.  
A: OK.

〈正答の絵〉



### 授業改善のポイント

- ・ まとまりのある英文の中から、必要な情報を聞き取ることができるようるために、聞き取る前に状況や目的を明らかにしておく。
- ・ 聞くだけにとどまらず、聞いて理解したことを、友達と説明しあったり、意見交換をしあったりする活動を取り入れる。

上記のポイントをもとに、普段の授業を振り返ってみましょう。

#### こんな生徒の姿は見られませんか？

今からどんな内容を聞くのか、わからないけれど、とりあえず聞いて答えてみよう。



聞き取る際の状況や目的がわからないまま、英語を聞いている。

○○って言葉が聞こえたから、答えは●●だろう。



メモをとらずに、印象に残った単語だけで安易に解答している。

#### こんな指導になっていませんか？

対話を聞いて、正しいものを記号で答えましょう。



聞き取る際の状況や目的を明らかにして、英語を聞かせていない。

2回放送を流すので、しっかり聞きましょう



当たり前のように音声を2回聞かせている。

具体的な実践例は次ページ

## 【中学校英語①】

聞いた内容について、適切に応じることを育む授業実践

単元名：Lesson3（第3学年 TOTAL ENGLISH3）

ねらい：現在完了形不定詞を用いて表現したり、相手に尋ねたり、適切に応答したりすることができる。

第1時：3Aの文法学習（現在完了・継続用法 肯定文）

第2時：3Aの本文理解（Ben's Email from Alaska）

第3時：3Bの文法学習（現在完了・継続用法 疑問文）

第4時：3Bの本文理解（Whale Watching）

第5時：3Cの文法学習（現在完了・経験用法）

第6時：3Cの本文理解（Eating Curry with Your Hand） ⇒右ページ上部参照

第7時：3Dの文法学習（It ~for 人 to…の構文）

第8時：3Dの本文理解（Miku's Email from India）

第9時：Lesson3のまとめ（Interview）

⇒下記参照

を各時間に繰り返し行う。

⇒右ページ下部参照

### 知識・技能を身に付ける

〈ねらい〉 聞き取る際に必要となる、基礎基本となる語彙や音のつながりを習得する。

#### 例① 語、連語及び慣用表現の習得

- ①学んだ語彙を用いて、各自が英語の文を作る。  
②グループで、各自が作った英文を交流する。

例：surround



Awaji island  
is surrounded  
by the sea.



Point  
英文の中で語彙を習得することで、単語がもつ意味の理解が深まり、習得しやすくなります。

We surrounded the winners after the game.



#### 例② 音声の習得

- ①基本的な読み方（a=ア、i=イ）や2つの文字の組み合わせで1つの音を作り出す digraph (ch=チ) 等の発音練習を繰り返し行う。

- ②Dictation や Linking を繰り返し行う。

（例）



Could you show me how?



Point  
それぞれの文字がもつ基本的な読み方をマスターできれば、大部分の英単語が音読できます。



Point  
一語一語切り離して発音せず複数の語を連続して発音する等、音変化に慣れるようにすることが重要です。

#### 例③ 聞くことへの準備

- ①「誰が」「どこで」「何を、なぜ、何のために」等の視点を示し、まとまりのある英語を聞かせる。

※メモ（日本語・英語・絵等）をとりながら聞くようにする。

- ②聞き取ったことや話のポイントとなる内容が何だったかを話し合わせる。

《メモ》  
• Who? ミクとソニアが  
• Where? 食卓にて  
• What? インドの習慣について



Point  
聞き取る前には、状況や目的を明らかにすることが大切です。



Point  
聞き取った後は、単に答え合わせにとどまらず、個々の気付きを生徒同士でフィードバックさせます。

### 主体的・対話的で深い学びにつながる指導のポイント

基礎的・基本的な知識の習得を通して、言葉の意味を理解できる喜び（聞いてわかる、読んでわかる）や、英語で意思伝達をする際に伝わる喜びを味わうことができる。わかる喜びや伝わる喜びは、自らすすんで英語を学ぼうとする意欲に繋がっていく。

## 学んだことを深める

〈ねらい〉まとめのある英文からすべての内容を聞き取ろうとするのではなく、必要な情報を聞き取り、質問できるようにする。

- ① 本単元の本文で扱った内容や文法を交えて、ALTが一定の長さの英文を話す。

(内容例)

- ・文化の違いについて驚いたこと
- ・自国の習慣の違い
- ・自国以外の国の文化や習慣について 等

When I came to Japan, it was very difficult for me to use chopsticks.

But you know the phrase "When in Rome, do as the Romans do", so ...



- ②メモをとりながらまとめのある英文を聞く。  
③ALTからいくつかの質問をし、Key wordが聞き取られているかどうかを確認する。  
④生徒からもいくつか質問をさせる。(4人グループなど少人数グループで)

- What was the most difficult for me to eat in Japan?
- What was the most surprising thing for me in Japan?



What is your favorite food in Japan?



Where do you want to go in Japan?



Point 学習した内容や文法を用いることで、聞くことに対する意欲が高まるとともに、学習内容の理解の深まりにもつなげることができます。

### 主体的・対話的で深い学びにつながる指導のポイント

まとめた英文を聞いて、鍵となる言葉や句を聞き取ることができれば、相手が何を一番に伝えたかったのか、理解することができるようになってくる。相手が伝えたいことを理解できれば、さらに内容を深まるような質問をすることができる。

## 生活や他の学習につなげる

〈ねらい〉「現在完了形」を含め既習表現を用いて、会話の流れに沿ったやりとりを続ける。

- ①前時までの学習をもとに、ALTに質問したいことを考える。

※必ず本単元で学習した「現在完了形」を用いた質問を取り入れるようにする。

- ②少人数グループ(4人程度)で質問する内容や想定される回答、回答に対する再質問を考える

- ③相手の答えたことをよく聞いて対応し、可能な限り会話を続けていく。

※ALTの方からも、即興でいくつか質問をしてもいい、日常の会話に近づけていく。

- ④他のグループとALTとの会話を聞き、要約とともに、グループ間で相互評価をする。



相づちを上手にうつなど、相手が話しやすい雰囲気を作っていたね。



How long have you lived in Japan?



For two years. I like temples and shrines in Japan.



Oh, really? I like visiting temples and shrines too.



Do you know any good ones to visit?



Yes, my favorite one is Yahata Shrine. It's near my house. You can see beautiful scenery there. Have you ever been there? ...



Point 相手の意図や答えたことに対して、自分の考えを交えながら、会話を続けていくようにします。



話の流れに応じた質問をしたり、ALTからの質問に対して理由を添えた答えるなど、会話を続けていたよ。



### 主体的・対話的で深い学びにつながる指導のポイント

生徒が自らすすんで「英語で話してみたい」「英語で(自分の気持ちなどを)書いてみたい」と思わせるような活動が求められる。そのためには、お互いのことに関して、既に知っている情報をやりとりするのではなく、お互いにまだ知らないことを題材に取り上げる必要がある。

## ② 読んだ内容について適切に応じる【8】

[正答率：兵庫県 11.1%、全国 11.6%]

### 調査問題

英語の授業で、次のような資料が配されました。これを読んで、文中の問い合わせに対するあなたの考えを英語で簡潔に書きなさい。

There are a lot of hungry people in the world. The World Food Programme gives food to about 90,000,000 people in 83 countries. Japan is a member of this project. However, here in Japan, people waste more than 6,000,000t of food every year. It means that one person wastes two rice balls every day. We waste food not only at home, but also at restaurants, convenience stores, supermarkets, schools, and some other places. That is really mottainai! We have to stop wasting food now. What can we do about this problem?

(注) The World Food Programme : 世界食糧計画 (国際連合の事業)

project : 事業 waste : ~を無駄にする rice ball : おにぎり

not only ~, but also ... : ~だけでなく,

### 【問題の概要】

英語の授業で配られた食糧問題に関する英文を読み、文中に書かれた問い合わせ（食糧を無駄にすることをやめるため何ができるか）に対する自分の考えを書く

### 【正答例】

- We should not buy too much food.
- If I can't eat everything, I can share it with others.

### このような誤答が多く見られます

※割合は兵庫県の結果

○食糧を無駄にすることをやめるために自分ができることを示していないもの。  
(40.0%)

- We have to stop wasting food.
- I think the world food programme is very nice project.
- We can eat two rice balls.
- I have no idea.

○書き手の考えを伝える上で、大きな支障のある語や文法事項等の誤りがあるため、伝えたい内容が理解できないもの。(17.6%)

- We waste not food.
- I was hope waste food.
- I can every eating food. So waste eating two rice balls.

○無解答(29.1%)



読んだ内容に対して、自分の考えを整理して述べることに課題

課題の解決に向けて

## その基礎となる「書き手の意図を読み取る力」も必要です

今回の調査 7 では、

- どの選択肢にも本文中の単語、表現が使われているため、文章から大切な部分を選ばず、目に付いた単語や表現の含まれている選択肢を選んでしまっている。

【問題の概要】チンパンジーに関する記事を読み、会話の空欄に合う文を選択する。

Chimpanzees are one of the smartest animals. They can do a lot of things. How smart are they? A team at a university in Japan found the answer. Some chimpanzees may be as smart as four-year-old children in some ways. Few animals can understand janken. In janken, none is the strongest among rock, scissors, and paper. Learning about the relation among the three is very difficult. The team tried teaching janken to seven chimpanzees. The team showed pictures of two different janken hands to the chimpanzees. The chimpanzees got food when they pointed to the stronger one. Finally, five of the chimpanzees learned janken. The team also tried teaching janken to some human children. They found that children could learn janken when they were about four years old. Through this study, they got the answer to the question: "How smart are chimpanzees?"

What is the most important point in this article?  
( ) .

- 1 Some chimpanzees may be as smart as four-year-old children
- 2 Few animals can understand janken
- 3 The team showed pictures of two different janken hands to the chimpanzees
- 4 The team found that children could learn janken when they were about four years old

正答：1

### 授業改善のポイント

- ・読む目的に応じて要点を把握をした上で、得られた複数の情報を取り出し、根拠をもとに、総合的に判断するような活動を取り入れる。
- ・読むだけではなく、内容に対する賛否を含めた自分の考えなどを話したり書いたりする活動を取り入れる。

上記のポイントをもとに、普段の授業を振り返ってみましょう。

#### こんな生徒の姿は見られませんか？



この単語があるから…

文章全体の内容や書き手の意図に着目せず、文の一部だけを見ている。

この文とこの文をつないだら、なんとなく答えになったかな？



与えられた英文にある単語や表現を羅列するだけで、自分の意見を述べることができていない。

#### こんな指導になっていませんか？



教科書本文の文法事項を確認しましょう。

文法事項の確認に留まり、表面的な読みになっている。

本文に書かれていることを英訳しましょう。



内容理解に留まり、概要をつかませたり自分自身の考えを表現したりする活動がない。

具体的な実践例は、次ページ

## 【中学校英語②】

読んだ内容について、自分の考えを整理して、述べることができる力を育む授業実践

単元名：Reading1（第3学年 TOTAL ENGLISH 3）

ねらい：エネルギーと環境問題に関する英文を読み、自分たちにできることについて考える。

第1時：1A,1B の内容理解  
⇒下記参照

第2時：1C,1D の内容理解

第3時：エネルギーと環境問題に対して関心高めるための班活動

⇒右ページ上部参照

第4時：エネルギーと環境問題に対して関心高めるための班活動

第5時：エネルギーと環境問題に対して課題解決のための班活動

⇒右ページ下部参照

第6時：エネルギーと環境問題に対して課題解決のための班活動

### 知識・技能を身に付ける

〈ねらい〉 英文を読み取る際に必要となる語彙を習得する。

#### ○目的意識をもって語彙を習得する



学習した表現を用いて、単元末に自分の考えを書く活動を行うことを伝え、目的意識を高めます。

##### ・Key Words

単語とその意味を表す写真や絵を見せ、単語の意味を推測させる。また、フォニックスを取り入れながら発音練習を行う。（例）太陽の写真を見せて、sunlightの意味を推測させる。

##### ・Vocabulary Check

新出単語の発音確認をした後、ワークシートで英単語と日本語をマッチングさせる活動。英単語はだいたい10個程度で、左側に英単語、右側に日本語を提示し、線で結ばせる。

#### ○目的意識をもって内容理解を図る

##### ・Illustrate The Timeline

本文の内容を時系列で絵に描いて整理する活動。1コマにつき1分30秒程度で簡単に描く。

##### ・Make a Quiz

Who…? When…? など例を示し、本文の内容に関する質問を作る活動。

##### ・Homework

エネルギーと環境について、自分の家庭や地域でどのような取り組みをしているか、また、どのような環境問題に興味があるか写真などを用意し、クラスメイトに伝える。

##### ★Comprehension Questions?

Q and A は内容理解ができていなくても、文構造を理解していれば答えることができるため、内容を理解しているとは言えない。（例）Greenhouse gases cause global warming.

（Q）What causes global warming? (A) Greenhouse gases do. →greenhouse gases, cause, global warming の単語の意味が分からなくても、質問に答えることができてしまう。

### 主体的・対話的で深い学びにつながる指導のポイント

単発の発問に留まらず、そこから Follow-up の発問などの工夫を行ったり、話の内容や書き手の意見に対して感想を述べたり、賛否やその理由を示したりするようなライティング活動を取り入れたりするなど、自己関連性のある活動へつなげるようになります。

## 学んだことを深める

〈ねらい〉本文の内容をもとに、自分の考えを伝えるために必要な表現を考えることができる。

- 自分の考えを表現するために必要な表現を確認するため、教科書の内容を再度読み返し、筆者が伝えたいことや、そのための表現の工夫について表に整理する。

頁	筆者が伝えたいこと	具体的には
1A	We use a lot of energy every day.	In Japan, 93% of energy comes from fossil fuels.
1B	Fossil fuels have serious problems.	Fossil fuels produce greenhouse gases and they cause global warming. Fossil fuels produce pollution.
1C	What can we do?	We need to use clean kinds of energy.
1D	By saving energy...	 <b>Point</b> need to use less energy.

それぞれのページで筆者が一番伝えたいと思っている文を抜き出したり、長い場合は、簡単に言い換えたりして、整理させることで、複数の情報の中から大切な部分を捉えることができます。

### 主体的・対話的で深い学びにつながる指導のポイント

自分の考えを伝えるための表現を考えるために、筆者が伝えたいことと表現の関連を整理することで、目的意識を持って考えることができ、本文で筆者が伝えたいことや、そのための表現の工夫について理解を深めることができます。

## 生活や他の学習につなげる

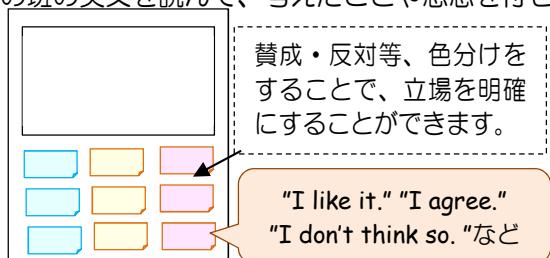
〈ねらい〉本単元で学習した表現を用いて、身近にあるエネルギー問題や環境問題について、自分の考えを表現することができる。

- 既習の表現を用いて、環境問題について文章を書く

- ①教科書で学んだ語句から、エネルギー問題に関するキーワード(turn off, turn on, waste, heaterなど) を選び、学校や家庭など身近にあるエネルギーや環境問題について、自分の考えを書く。
- ②個人の考えを発表し合い、それを基にグループで課題設定をし、4～5文程度の文章を書く。  
※必要に応じて、ALTに尋ねたり、辞書を用いたりして文章を書くようにします。

- 各グループの考えた課題を共有する

- ①各グループの文章を画用紙の上半分に書き、黒板に貼る。
- ②他の班の英文を読んで、考えたことや感想を付せんに書き、画用紙の下半分のコメント欄に貼る。



本文で学習した表現を用いてグループで文章を書き、考えを交流させることで、学習内容を深めるとともに、自分の考えを表現するために、目的を持って文章を読めるようにします。

### 主体的・対話的で深い学びにつながる指導のポイント

身近な話題について課題意識を持ち、学習したことを活用して自分の考えを書くことができるよう、段階を踏んで指導します。その際、生徒自身が自分の書いた英文を振り返り、表現の正確さを高めたり、ペアやグループで伝えあったことなどを参考に、最終的な自分の意見を読み手により伝わるよう簡潔にまとめたりするような活動を取り入れる必要があります。

### III

## 確かな学力を育む授業づくり

### 1 これからの時代に必要な資質・能力

情報化やグローバル化といった社会の変化が  
人間の予測を超えて進展

- 今後10年～20年程度で半数近くの仕事が自動化される
- 2045年には人工知能が人類を越えるともいわれています…

予測が困難な社会において

時代が変化したら、学校で習ったことが  
通用しなくなるのかな…



子ども達が自立して活動していくためには

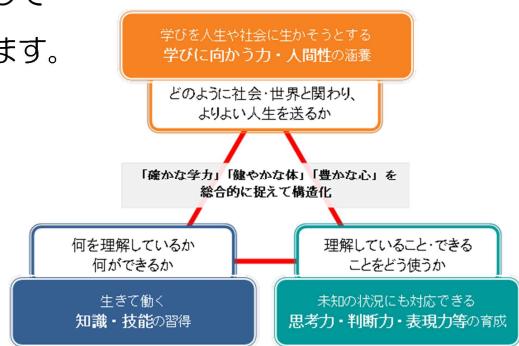
- 直面する様々な変化を柔軟に受け止め、どのような未来を創っていくのかを考え、
- 主体的に学び続けて、自らの能力を引き出し、
- 自分なりに試行錯誤したり、多様な他者と協働したりして、新たな価値を生み出す力の育成が求められています。

新学習指導要領では

#### 育成を目指す資質・能力が3つの柱に整理されています

「何を学ぶか」という教育の内容を重視しつつ、児童生徒がその内容を既得の知識及び技能と関連付けながら深く理解し、他の学習や生活の場面でも活用できる、生きて働く知識となることを含め、その内容を学ぶことで「何ができるようになるか」を併せて重視する必要があり、児童生徒に対してどのような資質・能力の育成を目指すのかを指導のねらいとして設定していくことがますます重要となります。

新学習指導要領では、各教科等の目標や内容が、「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」といった資質・能力の観点から再整理して示されています。



資質・能力の3つの柱ってどのように関係しているの？



3つの柱は、学習の過程を通して相互に関係し合いながら育成されるものです。

学ぶことに興味を向けて取り組んでいく中で、新しい知識や技能を得て、それらの知識や技能を活用して思考することを通して、知識や技能をより確かなものとして習得するとともに、思考力、判断力、表現力等を養い、新たな学びに向かったり、学びを人生や社会に生かそうとしたりする力を高めていくことができます。

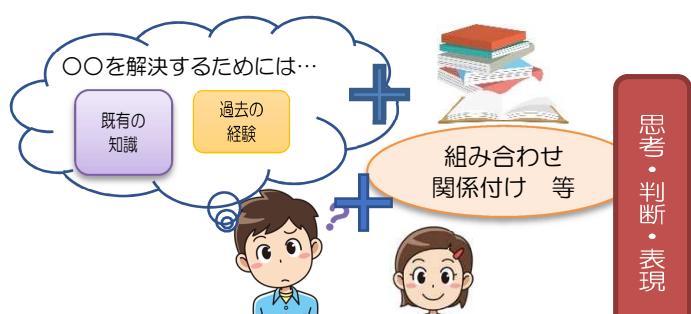
## 例えば

課題を解決しようとすると、それを解決するために、頭の中の引き出しにある知識や経験の中で、どれが使えそうかを考えます。



また、それだけでは解決できない場合、本などで調べたり、他者と話し合ったりしながら得た情報も含め、もともと持っていた知識と新たに手に入れた情報を組み合わせたり関係づけたりしながら、課題を解決するための方法を考えます。

その際、既習の知識や新たに得た情報を、組み合わせたり関係づけたりする際に用いる力が思考力、判断力、表現力等です。



そして、課題解決を通して、さらに新たな知識を得たり、質の高い知識にしたりすることができるのです。



課題を解決する際に大切なのが、「自分事として課題に向き合うこと」「どのようにすれば課題を解決できるか自分で考えること」「分かったことが課題の解決にどのようにつながっているのかを考えること」といった学びに向かう力です。

「なぜ学ぶのか」「今の学びが何につながっているのか」という目的意識を持っているからこそ、既習の知識を引き出そうとしたり、新たな情報を引き出そうとしたりできるのです。



次のページからは、授業改善のポイントを、全国学力・学習状況調査結果と関連付けて紹介します

## 2 習得・活用・探究の過程を重視した学習を充実させましょう

- ① 思考、判断、表現を通して生きて働く知識にするためには  
どんなことが大切な?



習得した知識を活用する場面を設けることが大切です。  
さらに、授業で学習したことを他の単元や教科、生活に生かすなど、探究の場面を設けることも大切です。

- ② 習得・活用・探究の関係ってどうなっているの?



各教科では、

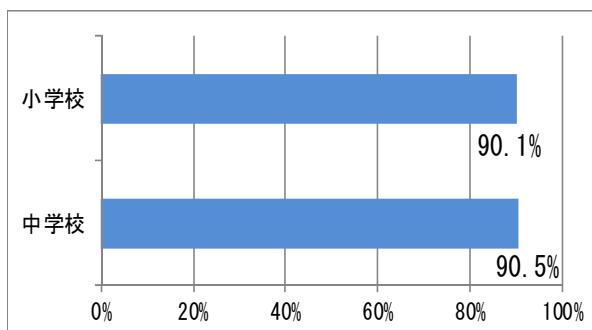
- ・基礎的・基本的な知識・技能を「習得」するとともに、
- ・観察・実験をしてその結果をもとにレポートを作成する、文章や資料を読んだ上で知識や経験に照らして自分の考えをまとめて論述するといったそれぞれの教科の知識・技能を「活用」する学習活動を行います。
- ・それを総合的な学習の時間等における教科等を横断した問題解決的な学習や「探究」活動へと発展させます。

これらの学習の基盤となるのは言語に関する能力であり、そのために各教科等で言語活動を充実させることが大切です。

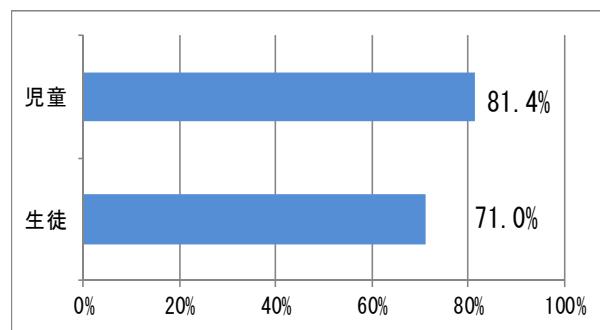
※ 各教科での「習得」や「活用」、総合的な学習の時間を中心とした「探究」は決して「習得→活用→探究」の一方通行ではありません。

### 学習したことを他の学習に生かしていると実感できるための工夫を

習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしていると回答した学校



授業で学んだことを、他の学習に生かしていると回答した児童生徒の割合



小・中学校とも、多くの学校で、習得・活用・探究の学習過程を見通した指導の工夫がなされています。さらに充実を図るため、児童生徒が学習したことを他の学習に生かしていくと実感できるための工夫が必要です。

個別の事実的な知識を生きて働く知識にするため、比較したり、関連付けたり、分類したりするといった、思考力、判断力、表現力等が重要な意味を持ちます。

思考力、判断力、表現力等を育むため、授業を構成する際に、以下のような場面を充実させることが大切です。

- ・物事の中から問題を見いだし、その問題を定義し解決の方向性を決定し、解決方法を探して計画を立て、結果を予測しながら実行し、振り返って次の問題発見・解決につなげていく場面。
- ・精査した情報を基に自分の考えを形成し表現したり、目的や状況等に応じて互いの考えを伝え合い、多様な考えを理解したり、集団としての考えを形成したりしていく場面。
- ・思いや考えを基に構想し、意味や価値を創造していく場面。

思考力、判断力、表現力等につながる考え方って？



#### 思考力、判断力、表現力等につながる「考えるための技法」

- |                    |       |                    |        |
|--------------------|-------|--------------------|--------|
| ・順序付ける             | ・比較する | ・分類する              | ・関連付ける |
| ・多面的に見る、多角的に見る     |       | ・理由付ける（原因や根拠を見付ける） |        |
| ・見通す（結果を予想する）      |       | ・具体化する（個別化する、分解する） |        |
| ・抽象化する（一般化する、統合する） |       | ・構造化する             | など     |

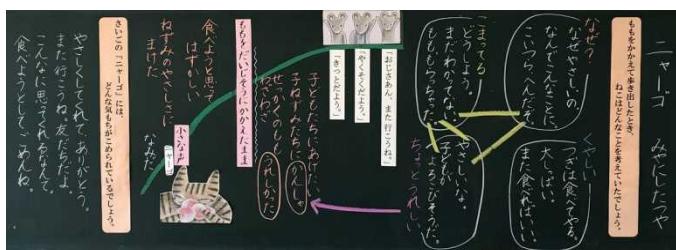
（中学校学習指導要領解説 総則編より）

市町教委の取組から

### 協同的な学びで本質へ迫る深い学びへ

加古川市では、基礎的な知識や技能など、繰り返し学習したり、手続きを確認したりしながら習得する「できる学力」の向上と、自分の様々な知識や経験を関連付けて解決に迫り、思考の過程を、根拠や理由を基に自分の言葉で表現し、協同的に学ぶ中で身につく「わかる学力」の向上を両輪にした授業づくりに取り組んでいます。

主として「わかる学力」の向上には、根拠や理由を明確にしながら自分の考えを持ち、それらを学級全体で表現し合う中で、多様な考えを認め合いながら、教科の本質に迫ったり、自分の考えを再構成したりする「協同的探究学習」を、市内全ての小中学校で行っています。



思考の流れをつなげる板書の工夫

#### 協同的探究学習の流れ

##### ・導入問題

一人一人が多様にアプローチでき、多様な考え方や解法が可能な導入問題を提示します。

##### ・個別探究 I

じっくり考える時間を確保し、根拠や理由、自分の考えを持たせます。

##### ・協同探究

学級全体で意見を出し合い、共通点や相違点、根拠や理由を表現しながら関連付けさせ、思考を整理しながら、深い学びを実現させます。

##### ・展開問題（個別探究 II）

学習内容のねらい、本質に迫る問題を提示し、学び合いで意見や考えを生かしながら、再度、自力解決させ、理解を深めさせます。

### 3 キャリア教育と関連付けて学ぶことの意義を実感させましょう

① 学びに向かう力を育むためにはどんなことが大切なの？



「何のために学ぶのか」「今の学びが将来にどうつながっているのか」を実感させることが大切です。キャリア教育と関連付け、これまでの学びや各教科間での学びをつなぐことで、自らの成長を実感することができます。

#### 学びに向かう力、人間性等を涵養すること（学習指導要領解説 総則編より抜粋）

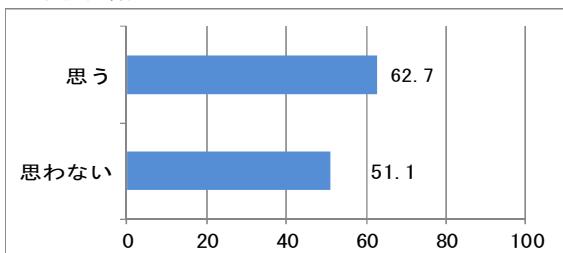
生徒一人一人がよりよい社会や幸福な人生を切り拓いていくためには、主体的に学習に取り組む態度も含めた学びに向かう力や、自己の感情や行動を統制する力、よりよい生活や人間関係を自主的に形成する態度等が必要です。

こうした情意や態度等を育んでいくためには、前述のような我が国の学校教育の豊かな実践を活かし、体験活動を含めて、社会や世界との関わりの中で、学んだことの意義を実感できるような学習活動を充実させていくことが重要です。

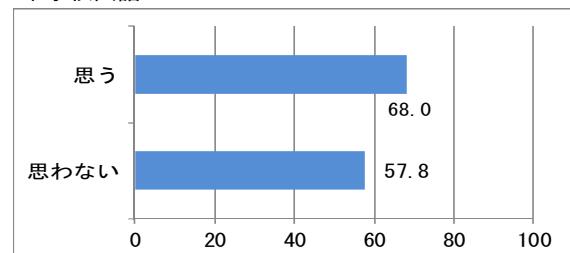
#### 学習したことが役に立つと感じている児童生徒の方が正答率が高くなっています。

「国語（算数・数学）で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」に対する回答と、該当する教科の正答率の関係

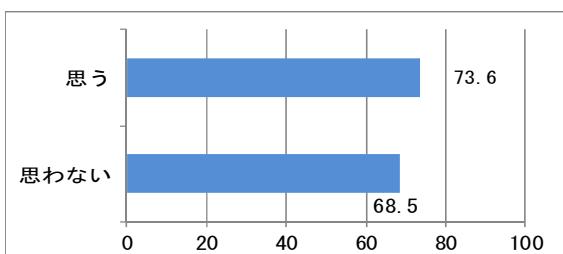
小学校国語



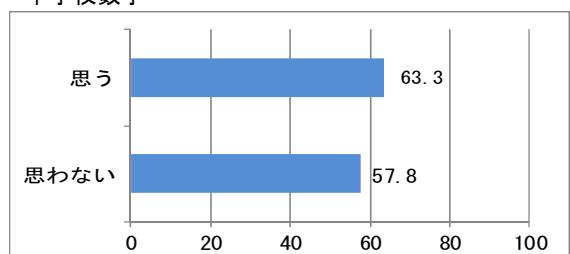
中学校国語



小学校算数



中学校数学



※「思う」には「どちらかといえば思う」、「思わない」には「どちらかといえば思わない」を含む

学習したことが将来役に立つと感じている児童生徒の方が、正答率が高くなっていることからも、各教科において、「今の学習が将来どのようにつながっているのか」を考えさせる機会を設けることが大切です。

## 無解答率が多い？

兵庫県の結果を見ると、全国平均に比べて無解答率の高い設問が多くありました。

### 無解答率の高かった設問（抜粋）

教科	設問概要	無解答率	
		兵庫県	全国
小学校国語	話し手の思いや考えに着目して心に残ったことを書く（1四(2)）	12.8%	11.3%
	「習うより慣れよ」の使い方の例として適切なものを選ぶ（3四）	12.0%	7.9%
小学校算数	減法の計算の仕方についてまとめたことを基に、除法の計算の仕方を書く（3(2)）	10.0%	10.8%
中学校国語	話合いの流れを踏まえて自分の考えを書く（2三）	9.5%	8.9%
中学校数学	四角形A B C Dがどのような四角形であればA F = C Eになるかを説明する（7(3)）	17.6%	17.6%
	ヒストグラムの特徴を基に、考えが適切でない理由を説明する（8(2)）	22.8%	21.3%
中学校英語	音声メッセージを聞いて、アドバイスを書く（4）	46.1%	42.3%
	資料を読んで、その問題に対する自分の考えを書く（8）	29.1%	27.9%

## 無解答と質問紙調査結果\*の関係を見ると…

以下の項目について、肯定的な回答の割合が低くなっていました。

### ○自己肯定感に関する項目

- ・「ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか」
- ・「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」

### ○規範意識に関する項目

- ・「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」

### ○生活習慣に関する項目

- ・「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」
- ・「朝食を毎日食べていますか」

\*小学校国語の無解答率の高かった設問において無解答だった児童の質問紙調査結果

### 普段の生活や授業において、

- ・良いところを見つけて児童自身が気付けるように声掛けをする
  - ・最後まで粘り強く取り組めるよう支援をする
  - ・規範意識や思いやりの心を育む場面を設ける
  - ・生活習慣の定着に向け、家庭との連携を図る
- といった働きかけが大切です。

## ② キャリア教育でどうやって学びをつなぐの？



キャリア教育とは、子ども達が、将来、社会的・職業的に自立し、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現するための力を育む教育です。新学習指導要領では、特別活動（学級活動（3））を要として各教科等での学びや成長をつないだり振り返ったりすることとされています。

### 特別活動を要として各教科をつなぐ（横のつながり）

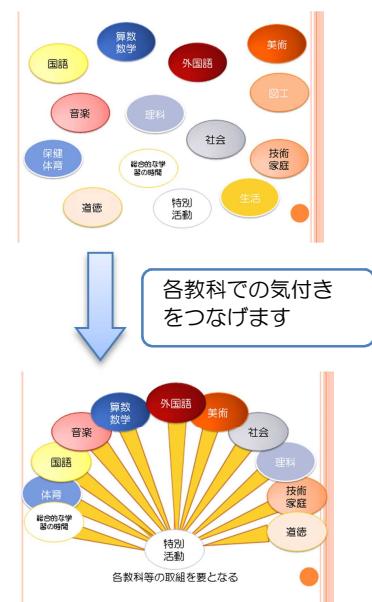
それぞれの教科等では、キャリア発達につながる多くの気づきをしています。また、それらは異なる教科でも関連していることがあります。

例えば…

体育の学習で  
自分の役割を意識してプレーする  
係活動で  
与えられた仕事をやり遂げる

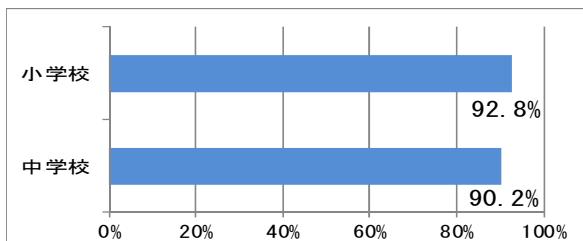
相手のことや自分の役割を考える

特別活動（学級活動）では、各教科での気づきをつなげ、意識化させることで、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現する意義を考えることにつなげます。



### 学級活動を通して自らの成長を実感できる機会を

学級での話し合いを生かして、一人一人の児童生徒が今、努力すべきことを意思決定できるような指導を行っていると回答した学校の割合



9割以上の学校において、学級活動の充実が図られています。このような機会を生かして、各教科等での学びを振り返り、それぞれの成長に気付かせ、これから努力することの意思決定につなげることが大切です。

### 「なりたい自分」について考える学級活動の展開例

#### 課題の把握

アンケート等を活用して、題材を自分事として捉え、将来と今とのつながりや学習することの意義、将来の展望などについての課題を掘りむるようにします。

#### 原因の追求、可能性への気づき

これまでの自分を振り返り、「なりたい自分」について自分の願いをもったり、よさや可能性を探ります。

#### 解決方法の話し合い

小グループや学級全体での話し合いを通して、「なりたい自分」を追求するためできることなどを広げます。

#### 個人目標の意思決定

強い決意をもち、自分に合った具体的な個人目標や実践方法が決められるようにします。

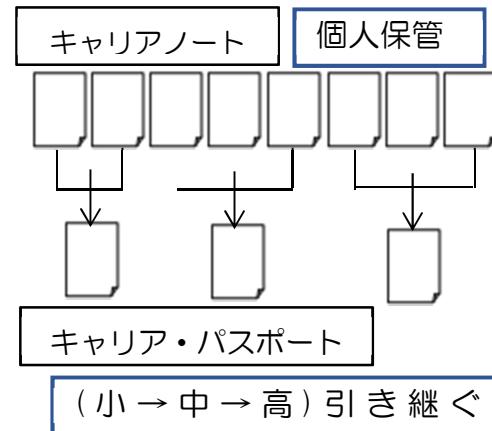
（参考）「みんなで、よりよい学級・学校生活をつくる学級活動（小学校編）」（文部科学省、国立教育政策研究所）

## キャリア・パスポートで各学年をつなぐ(縦のつながり)

「キャリア・パスポート」は、児童生徒の成長を記録するという意味では同じ種類のものです。「キャリア・パスポート」は、キャリアノートの内容をもとに、毎学期末に振り返りを行う際に活用します。各学年1～2ページとすることで、次の学年や学校に引き継ぎやすくなります。

- キャリアノート : 学校行事の記録、学習の振り返り等も含めてファイリングしたもの。詳しく記録できるかわりに分量が多くなる。
- キャリア・パスポート : キャリアノートを基にした1年間の振り返り。分量が少ないため、引き継ぎやすい。

各学校が独自の名称を付けても構いません。



## 質問紙調査にも注目を

児童生徒質問紙調査の結果から、全国の結果よりも肯定的な回答が上回っている項目が多い市町は、無解答率が低い傾向にありました。

また、学校質問紙調査においても、肯定的な回答が多い市町ほど、正答率が高い傾向がありました。全国学力・学習状況調査の結果分析を通して課題を共有するとともに、重点的に取り組むポイントについて共通理解を図ることが、数値にもつながっています。

市町教委の取組から

## 脳の成長に応じた「夢と希望の教育」

小野市では、母親のおなかに「いのち」が宿るマイナス1歳から義務教育修了(15歳)までの16か年において、キャリア形成を意識し、脳の成長に応じた「夢と希望の教育」を展開しています。



その取組としては、朝食をとる、スマートフォンやゲームの時間を制限する、家庭で会話をするといった、生活習慣の定着に関する取組を、地域や家庭、関係機関と連携して行っています。また、「おの検定」により基礎・基本の定着を図るとともに、「視線を合わせて、その時・その場でほめる」といったコミュニケーションと関連付けることで、「意欲のある子」「思いやりのある子」といった豊かな心を育んでいます。

さらに、学校、教育委員会、関係機関のネットワークにより、生徒指導上の問題が減少し、教員が安心して児童生徒に関わることのできる環境づくりがなされていることで、授業づくりのためのゆとりが生まれています。

## 4 主体的・対話的で深い学びの視点で授業を充実させましょう

① 主体的・対話的で深い学びってどういう学びなの？



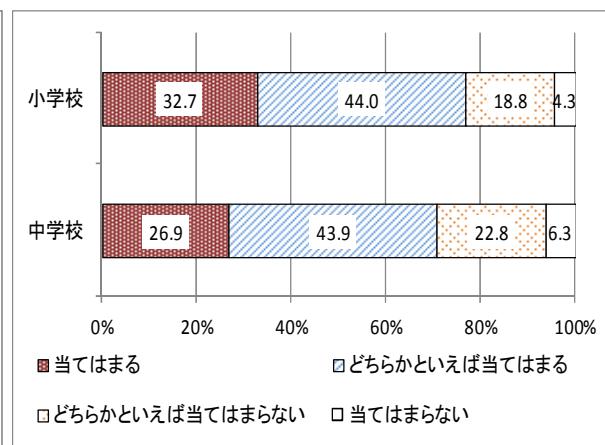
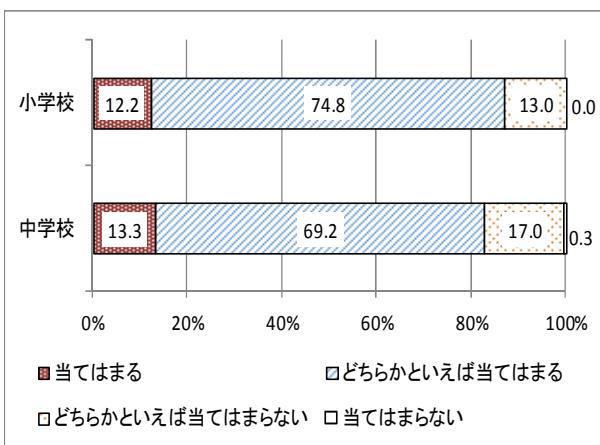
「知識及び技能が習得されるようにすること」「思考力、判断力、表現力等を育成すること」「学びに向かう力、人間性等を涵養すること」が偏りなく実現されるよう、単元や題材など内容や時間のまとめを見通しながら、児童生徒の主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を行うことが必要です。



### 兵庫県の現状を見ると…

授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると回答した学校の割合

授業では、課題解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思う児童生徒の割合



授業では、児童生徒が課題の解決に向けて、自分で考え、自分から進んで取り組むことができていると考える学校の割合は、小・中学校とも約8割であるのに比べ、児童生徒の割合は小・中学校とも約7割となっており、児童生徒に活動していることの意味を十分に理解させる必要があります。

- ② 主体的・対話的で深い学びを行う際に、どんなことに気を付けなければならないの？



ペア学習やグループ学習等、形式にとらわれるのでなく、「この単元や1時間の授業で、どのようなことを身に付けさせたいのか、何を考えさせたいのか」といったことを明確にし、児童生徒の学びを深めるための授業形態や手立てを考えることが大切です。

以下に、主体的・対話的で深い学びの授業改善のポイントを示していますので、自身の授業を振り返る参考にしてください。

### 主体的な学びの実現に向けて

- ◆ 本時で身に付けさせたいこと、提示するめあて、学習活動、振り返りの内容がつながっていますか。
- ◆ 既習事項を振り返ったり、本時で何ができるかを考えたりするなど、児童生徒が見通しを持って学習に取り組めるための手立てを行っていますか。
- ◆ 学習後に「何が身に付いたのか」を実感し、生活や次の学習につなげることのできる振り返りになっていますか。

### 対話的な学びの実現に向けて

- ◆ 「何を考えさせたいか」「どのような意見が出されるか」など、児童生徒の思考を事前にイメージした上で話し合い活動を行っていますか。
- ◆ 「意見を収束させる」「多様な意見を出す」など、目的を明確にして、話し合いの形態（ペア、グループ、全体）を設定していますか。
- ◆ 児童生徒一人一人が自分の考えを持った上で、話し合い活動に臨んでいますか。
- ◆ 「比較する」「分類する」など、話し合いを通じて考えを深めたり広げたりするための思考の仕方や、そのための手立て（ワークシートなど）を示していますか。
- ◆ 話し合いの前に視点を確認したり、話し合いの後に考えの深まりを確認する場面を設けるなど、話し合いを充実させるための活動を行っていますか。

### 深い学びの実現に向けて

- ◆ 授業の前と後で、「何が深まるのか」が明確になっていますか。
- ◆ 単元や1時間の中でどのような「見方・考え方」を働かせるのかが具体的になっていますか。
- ◆ 児童生徒の思考の流れを具体的にイメージし、思考・判断・表現の過程を重視した上で、単元や題材の構成や学習の場面等に応じた指導方法を設定していますか。

確かな学力の育成に向け、学校教育に関わる様々な取組を、教育課程を中心に据えながら組織的かつ計画的に実施し、教育活動の質の向上につなげるカリキュラム・マネジメントが求められています。

具体的には、

- ・児童や学校、地域の実態を適切に把握し、教育の目的や目標の実現に必要な教育の内容等を教科等横断的な視点で組み立てていくこと
- ・教育課程の実施状況を評価してその改善を図っていくこと
- ・教育課程の実施に必要な人的又は物的な体制を確保するとともにその改善を図っていくこと

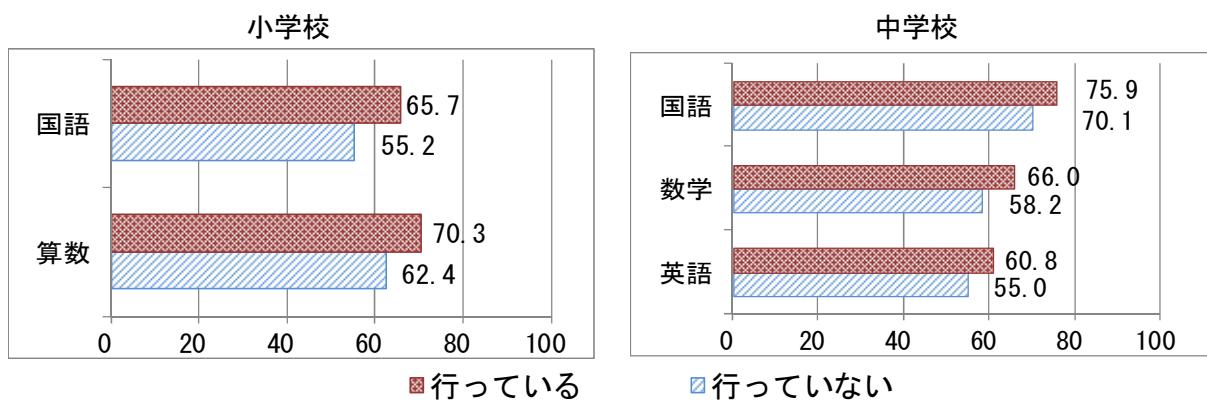
などを通して、教育課程に基づき組織的かつ計画的に各学校の教育活動の質の向上を図っていくことが大切です。

## 1 総合的学習の時間を中心に、教科横断的な学習を図いましょう

- ・教科等横断的な視点に立った資質・能力の育成を教育課程の中で適切に位置付けていくこと
  - ・総合的な学習の時間等において教科等の枠を超えた横断的・総合的な学習が行われるようにすること
- など、教科等間のつながりを意識して教育課程を編成することが大切です。

**学習したことが役に立つと感じている児童生徒の方が正答率が高くなっています。**

「総合的な学習の時間に、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか」に対する回答と、各教科の正答率の関係



総合的な学習の時間に、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる児童生徒ほど、そうでない児童生徒よりも高い正答率になっています。「各教科等で学んだことを活用して、課題解決を図っている」という意識を児童生徒自身に実感させることが大切です。

① 教科等横断的な視点に立った資質・能力の育成って？



変化の激しい社会の中で、主体的に学んで必要な情報を判断し、よりよい人生や社会の在り方を考え、多様な人々と協働しながら問題を発見し、解決していくため、以下に示すような力を、教育課程全体を見渡して育むことが大切です。つながりを意識して教育課程を編成することが大切です。

【学習の基盤となる資質・能力】

言語能力、情報活用能力（情報モラルを含む）、問題発見・課題解決能力 等

【現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力】

- ・健康・安全・食に関する力
- ・主権者として求められる力
- ・新たな価値を生み出す豊かな創造性
- ・グローバル化の中で多様性を尊重するとともに、現在まで受け継がれてきた我が国固有の領土や歴史について理解し、伝統や文化を尊重しつつ、多様な他者と協働しながら目標に向かって挑戦する力
- ・地域や社会における産業の役割を理解し地域創生等に生かす力
- ・自然環境や資源の有限性等の中で持続可能な社会をつくる力
- ・豊かなスポーツライフを実現する力

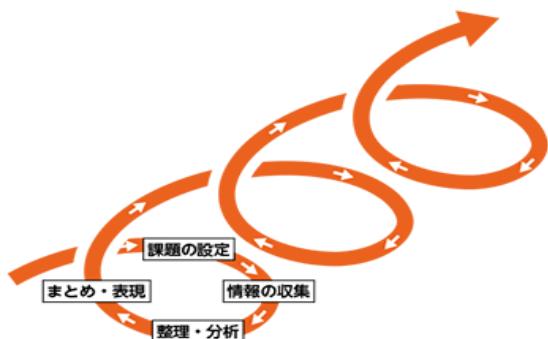
（小学校学習指導要領解説 総則編より）

② どうすれば、総合的な学習の時間を充実することができるの？



各教科等で知識や技能を習得・活用し、総合的な学習の時間において、実際に課題を探究する活動を行うことで、知識や技能が生きて働くものとなります。また、総合的な学習の時間での学習活動やその成果が各教科等の学習意欲を高めることにつながります。

探究的な学習における児童生徒の学習の姿



■ 日常生活や社会に目を向け、自ら課題を設定する。

■ 探究の過程を経由する。  
① 課題の設定  
② 情報の収集  
③ 整理・分析  
④ まとめ・表現

■ 自らの考え方や課題が新たに更新され、探究の過程が繰り返される。

- ①日常生活や社会に目を向けた時に湧き上がってくる疑問や関心に基づいて、自ら課題を見付け
- ②そこにある具体的な問題について情報を収集し
- ③その情報を整理・分析したり、知識や技能に結び付けたり、考えを出し合ったりしながら問題の解決に取り組み
- ④明らかになった考え方や意見などをまとめ・表現し、そこからまた新たな課題を見付け、さらなる問題の解決を始めるといった学習活動を発展的に繰り返していく

探究の過程による学習活動例は次ページ

③ 探究的な学習過程ってどうやって進めるの？



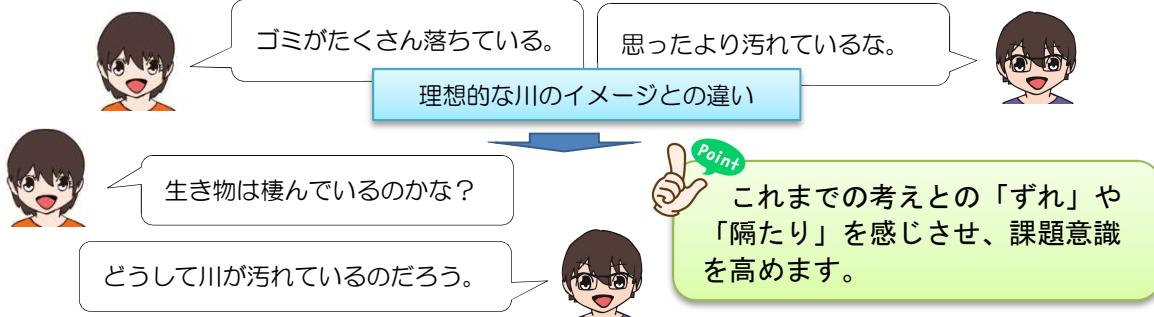
前ページに示した探究的な学習過程のイメージを教員が持ち、それを具現化するための手立てを以下のように講じることが大切です。

その際、体験活動と関連付けたり他教科の学びを生かしたりすることも大切です。

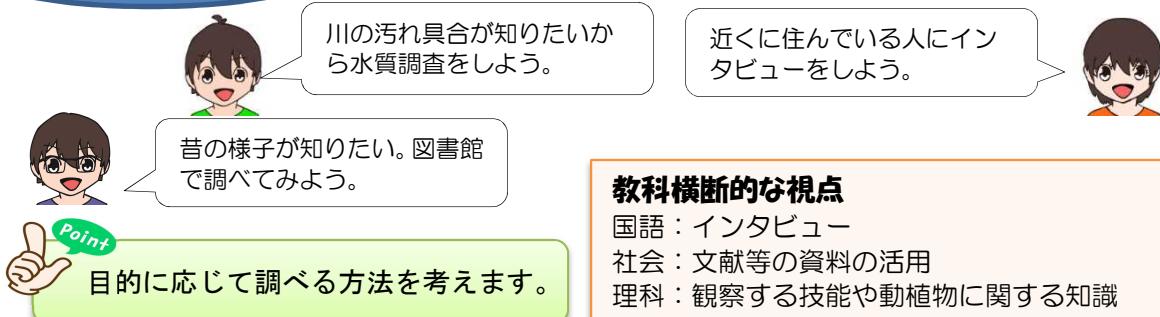
## 探究の過程による学習活動例（小学校） 「身近な川の環境について考えよう」

### 課題の設定

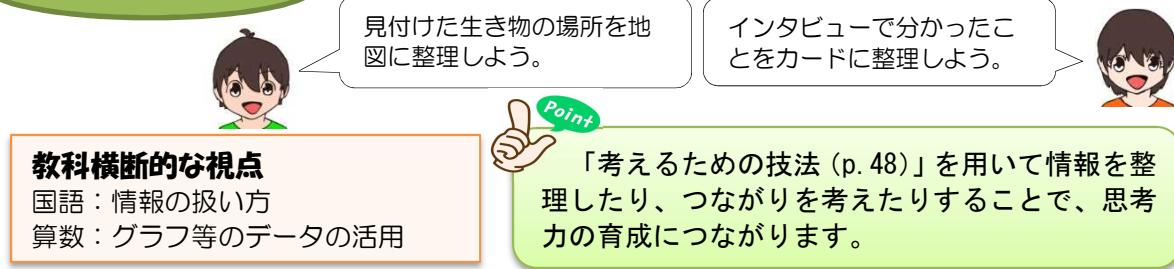
#### 「近く川を探検しよう」



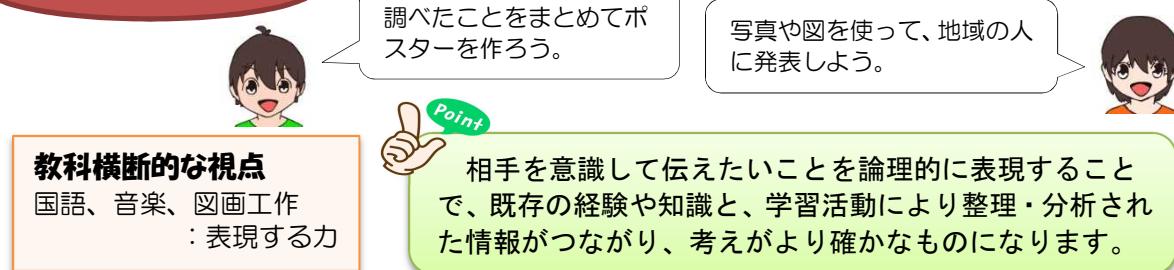
### 情報の収集



### 整理・分析



### まとめ・表現



参考：小学校学習指導要領解説（総合的な学習の時間編）

## 探究の過程による学習活動例（中学校） 「自分達の地域に貢献しよう」

### 課題の設定



この町を訪れる観光客のグラフを見て、気付くことはありますか。

こんなにたくさん来ているんだ



この町にどんな魅力があるんだろう。



地元の人はどんな風に考えて  
いるんだろう。

自分達の住んでいる地域の良さをもつ  
と知りたいな。



疑問や驚きが生まれるよう意図的な働きかけを行い、生  
徒の課題意識を高めます。

### 情報の収集



観光客にアンケートを取つ  
てみよう。



地元の人たちも何か工夫をして  
いるはず。インタビューを行つ  
てみよう。



地域に伝わる伝統が魅力かも。地  
域の歴史を調べてみよう。

#### 教科横断的な視点

国語：インタビュー、アンケートの作成  
社会：文献等の資料の活用



目的に応じて、どのような情報をどの  
ような方法で収集するのかを考えさせ  
ます。

### 整理・分析



アンケートの結果をグラフ  
にまとめよう。

アンケートの結果とインタビ  
ューの内容を比べてみると…



「考えるための技法（p. 48）」を用いて情報を整  
理したり、細分化して因果関係を導き出したりす  
ることで、思考力の育成につながります。

#### 教科横断的な視点

国語：情報と情報の関係、情報の整理  
数学：データの活用

### まとめ・表現



伝統を受け継いで、それを進  
んで発信することがこの地  
域の魅力だ。

もっと地域の魅力を発信し  
たい！



#### 新たな課題

地域に貢献できるイベント  
を企画したい



まとめたり表現したりすることで、情報が再構成され、  
自分自身の考えや新たな課題を自覚することにつながり  
ます。

#### 教科横断的な視点

国語：表現する力  
社会：関連付けて考える力

参考：中学校学習指導要領解説（総合的な学習の時間編）

## 2 全国学力・学習状況調査結果等の結果を活用して授業改善を図りましょう

各学校においては、

- 各種調査結果やデータ等を活用して、児童や学校、地域の実態を把握する
- 教育目標の実現状況や教育課程の実施状況を確認・分析して課題となる事項を見いだす
- 改善方針を立案して実施する

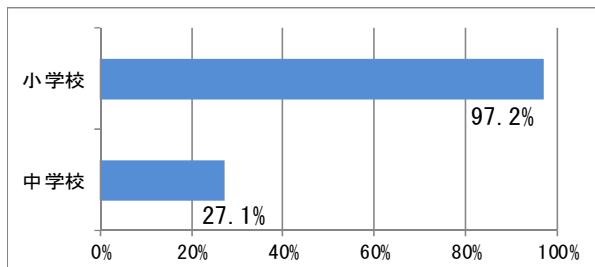
ことが求められます。

その際、比較的直ちに修正できること、長期的に改善に図っていくこと等を明確にし、必要な体制や日程を具体化し組織的かつ計画的に取り組むことが大切です。

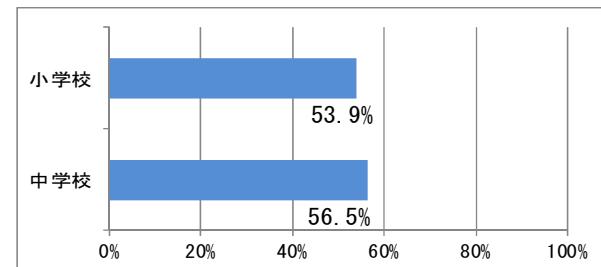
学力向上については、全国学力・学習状況調査の結果やデータ等を活用して、児童生徒のつまずきの実態等を具体的に分析し、授業改善を図ることが大切です。

### 兵庫県の現状を見ると…

全国学力・学習状況調査の結果分析について、対象学年・教科だけでなく学校全体で教育活動を改善するために活用していると回答した学校の割合



全国学力・学習状況調査の分析結果について、近隣の小（中）学校と成果や課題を共有していると回答した学校の割合



中学校においては、全国学力・学習状況調査を他教科の授業改善につなげることが必要です。また、小・中学校で課題を共有し、9年間の学びのつながりを大切にした取組も必要です。

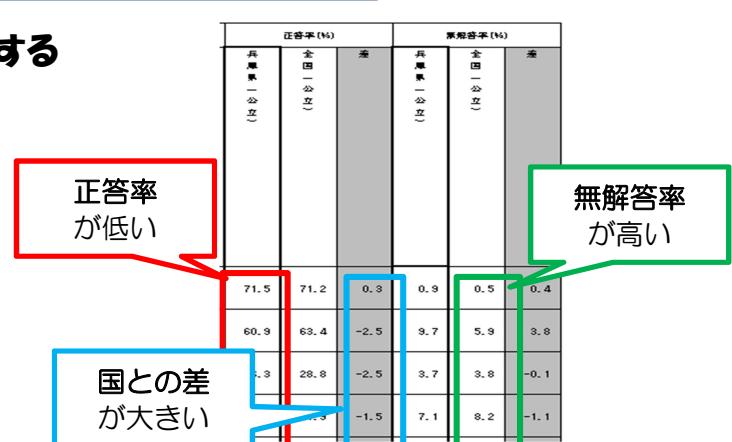
○どうやって全国学力・学習状況調査の結果を授業改善につなげるの？



### 全国学力・学習状況調査を活用した分析の流れ

#### ①課題の見られる問題を抽出する

「問題別調査結果」から、正答率の低い問題、国や県と比較して差の大きな問題、無解答率の高い問題を重点的に抽出します。



## ②解答類型をもとに誤答の傾向をつかむ

解答類型を用いて、どのような間違え方を多くしているのかを確認します。

問題番号	問題の概要	類型別の割合				
		1	2	3	4	5
1-1	公衆電話について調べたことを【報告する文章】で〈資料2〉と〈資料3〉をそれぞれどのような目的で用いているか、適切なものを選択する	71.5	8.5	11.6		
		71.2	8.5	11.5		
1	◎ 〈資料2〉に2、〈資料3〉に4と解答しているもの					
2	〈資料2〉に2と解答しているが、〈資料3〉に4と解答していないもの					
3	〈資料3〉に4と解答しているが、〈資料2〉に2と解答していないもの					
99	上記以外の解答					
0	無解答					

解答の類型

【解答類型とは・・】

児童生徒一人一人の具体的な解答状況を把握できるよう、正答例・誤答例をもとに、設定する条件などに即して解答を分類、整理するためのものです。

## ③誤答・無解答の原因を分析する

「全国学力・学習状況調査 報告書」を参考にしながら、「なぜ、そういった誤答につながったのか」「なぜ、無解答が多いのか」分析します。

【例 小学校国語 1-1】2つの資料がそれぞれどのような目的で使われているのかを考える。

〈資料2〉 公衆電話が必要な理由のまとめ(複数回答)	
けいさい電話をわすれたときに必要	22人
けいさい電話の電池が切れたときに必要	12人
けいさい電話の使用が禁止されている場所にいるときに必要	5人
けいさい電話の電波がとどかない場所にいるときに必要	4人
けいさい電話や家の電話がつながりにくいときに必要	3人
その他	5人



資料2の目的「内容ごとに分類して示し、大まかな特徴を伝えるため。」を選べていない児童が多い。

表のまとめ方は分かっていても、どんなときに使うのかまでは考えることが少ないのでないのではないか。

## ④学校全体で取り組む授業改善の視点を焦点化する

分析結果をもとに、「～のつまずきがどのようにつながっているのか」といった系統性を考え、学校全体で取り組む授業改善の視点を焦点化します。

全国学力・学習状況調査に見られる課題は、それまでの学年でのつまずきが考えられます。分析結果と改善策を学校全体で共有することが大切です。

- ・指導方法の工夫・改善 → 他の教科等でも取り組めること
- ・指導体制の充実 → 学習タイムの見直し・家庭との連携強化 等

「ひょうごつまずきポイント指導事例集」では、系統的な授業改善の方法を紹介しています。



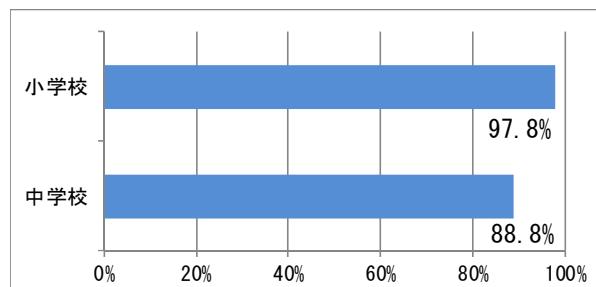
### 3 家庭や地域と「目指す児童生徒の姿」を共有し、連携を図りましょう

家庭や地域の人々とともに児童生徒を育していくという視点に立ち、家庭、地域社会との連携を深め、学校内外を通じた児童生徒の生活の充実と活性化を図るために、以下のこと留意することが大切です。

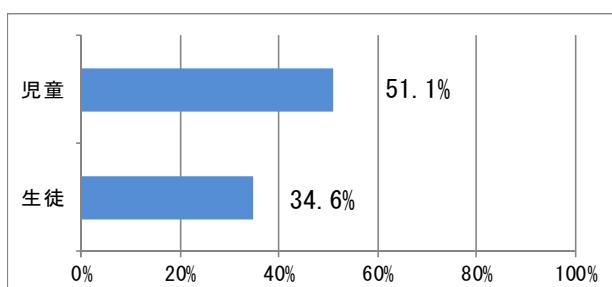
- ・教育活動の計画や実施において、家庭や地域の人々の積極的な協力を得て地域の教育資源や学習環境を一層活用していくこと
- ・各学校の教育方針や特色ある教育活動、児童生徒の状況などについて家庭や地域の人々に適切に情報発信し、理解や協力を得ること
- ・家庭や地域の人々の学校運営などに対する意見を的確に把握して、自校の教育活動に生かしたりすること

#### 地域に関わっているという意識の向上を

「保護者や地域の人が学校の美化、登下校の見守り、学習・部活動支援などの活動に参加していますか」に対して肯定的な回答をした学校の割合

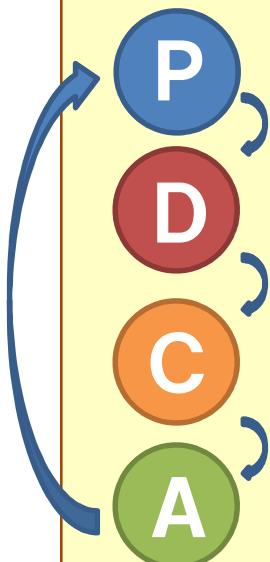


「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか」に対して肯定的な回答をした児童生徒の割合



多くの学校で地域との連携が図られています。一方で、児童生徒の地域とのつながりに関する意識が低いことから、地域とのつながりを児童生徒にも意識させたり、地域の一員として何ができるかを考えさせたりする機会を設けることが大切です。

#### 子どもたちの学びの充実に向けた地域・学校の連携に関するPDCAサイクル



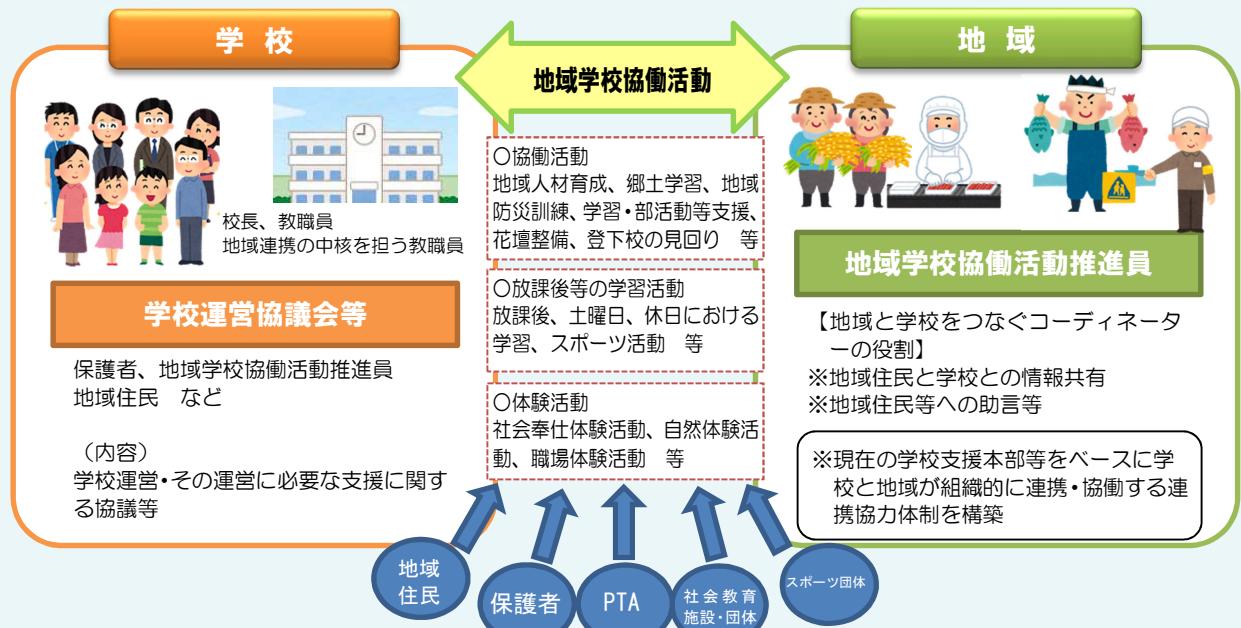
学校や地域、子どもたちの状況等についての必要な情報、目標やビジョンを共有し、効果的な手段について確認します。

授業補助やふるさと学習、キャリア教育支援から、放課後子供教室や地域未来塾、登下校の見守りなど、多くの地域住民の参画による活動を展開します。

学校の教育活動全般に対する評価に加えて、地域学校協働支援本部等に関しても評価します。

評価の結果を踏まえ、次年度に向けて目的や目標を見直したり、具体的な活動の内容を工夫・修正したりします。

## 学校と地域の効果的な連携・協働と推進体制(イメージ)



市町教委の取組から

### てんまっ子応援団(稻美町)

地域学校協働活動の主旨に賛同した熱意ある地域住民と学校代表(教員)でスタートし、長期休業中に学力補充を行う「サタ☆スタ未来塾」と児童の生活体験不足を補うとともに地域の特色を学ぶ「土曜体験活動」を実施しています。子ども大人も共に楽しみながら学び、人と人のつながりを大切にすることで、地域人材と教育資源を活かした取組となっています。



地域人材を活用した「サタ☆スタ未来塾」の取組

### 赤穂西小学校コミュニティ・スクール(赤穂市)

「地域に愛され、地域と共に創る学校」のテーマのもと、「学びのコミュニティ」「心を育むコミュニティ」「安心・安全のコミュニティ」を3本柱として、平成25年度からコミュニティ・スクールによる学校運営を進めています。田植えや稲刈り、児童と高齢者大学との合同講座、地域住民が玄関から散歩出て登下校時の児童に声かけをする「三歩一声運動」等の取組を通して、学校・保護者・地域が三位一体となって子どもを育てる環境が整っています。



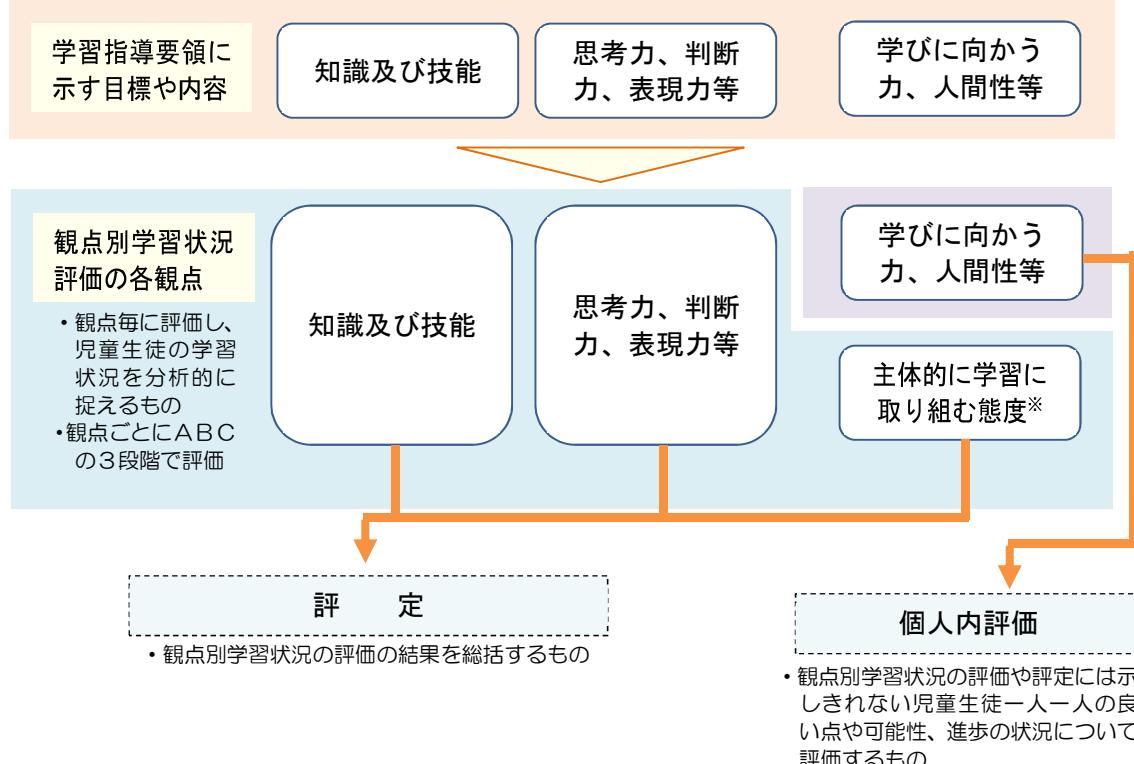
高齢者大学の方々と児童との交流給食会を開催

## 新学習指導要領に基づく学習評価

## 学習評価の改善の基本的な方向性

- ① 児童生徒の学習改善につながるものにしていくこと
- ② 教師の指導改善につながるものにしていくこと
- ③ これまで慣行として行われてきたことでも、必要性・妥当性が認められないものは見直していくこと

## 各教科における評価の基本構造



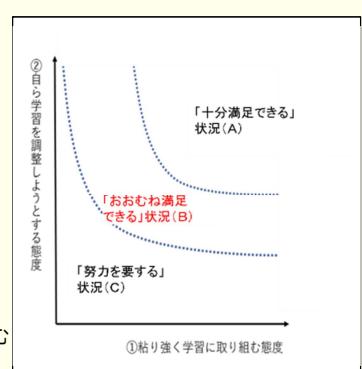
## ※主体的に学習に取り組む態度の評価

知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みの中で、自らの学習を調整しているかどうかを含めて評価します。

(評価の工夫(例))

- ・ノートやレポート等における記述
- ・授業中の発言
- ・教員による行動観察

「主体的に学習に取り組む態度」の評価のイメージ



## 新学習指導要領における指導のポイント

義務教育課のホームページでは、新学習指導要領の改訂のポイントを教科毎にQ & A形式で掲載しています。

(<http://www.hyogo-c.ed.jp/~gimu-bo/kyouikukatei/gaku.htm>)



令和元年度学力向上実践推進委員会

# 学びを支え高め合う「新はばタン・モデル」

学校全体で学力向上を推進するためには、きめ細かな学習指導や、人間的なふれあいに基づく生徒指導などの「学びのアクション」を両輪として、教職員の主体的・協働的な学校づくりへの参画などの「学びのビジョン」、校種間・地域の連携などの「学びのリレーション」を充実させることが大切です。

## 学びのビジョン

### 心通い合う学校経営

- 学校づくりへの教職員の主体的・協働的な参画
- 社会に開かれた教育課程の理念を実現するカリキュラム・マネジメントの確立

### 指導力を高め合う校内組織

- 学習や生活の基盤づくりに向け、指導力向上を図る研修の充実
- 教職員の高いモラルと相互に学び合う同僚性

### 安心して共に学び合う学校環境

- 認め合い・育ち合う活気に満ちた学年・学級経営
- 規律や伝統を重んじ、安心して学べる学校風土

## 学びのアクション (生徒指導)

### 人間的なふれあいに基づく生徒指導

- 児童生徒理解を深化させ、集団生活における自己の存在感を高める取組
- 共感的な人間関係の育成や自己の可能性の開発の援助

### 豊かな体験を通した心の教育

- 自立心、自己肯定感、成就感、規範意識等を育む体験活動
- 命を大切にし、人権を尊重するなど豊かな心を培う取組



兵庫県マスコット はばタン

## 学びのアクション (学習指導)

### 学力や学習状況の把握に基づくきめ細かな学習指導

- 全ての学習の共通基盤とする資質・能力の計画的・体系的な育成
- 各教科の特質に応じた見方・考え方の育成

### 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善

- 既に行われている学習活動の質の向上
- 教える場面と思考・判断・表現させる場面を効果的に設計・関連させた指導

## 学びのリレーション

### 学びの連続性を踏まえた校種間連携

- めざす児童・生徒像、指導観、指導方法等の共有
- キャリア教育の視点から学習への目的意識を持たせる系統的な指導

### 参画と協働による地域連携

- 教育課程を介した目標の共有
- 地域住民の支援・協力を得た開かれた学校づくり
- 地域人材・資源・教材を生かした教育活動

### 信頼関係に基づく保護者連携

- 保護者の教育目標や教育活動への理解とパートナーシップに基づく支援
- PTA等のネットワークを生かした教育活動